

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	スポーツ科学	2	30	選択	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 作業療法学科 2年生	赤岩龍士	解剖学Ⅰ・解剖学実習・運動学・整形外科学・機能診断学・運動療法学・骨関節疾患理学療法学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	スポーツにおける動作の特徴、外傷障害について理解する。				
行動目標 (SBO)	1 スポーツ基本動作について知る。 2 スポーツ外傷障害の発生機序、特徴、応急処置について知る。 3 コンデショニングについて実践できるようにする。 実際にテーピング・バンデージの実習を行って必要な知識・技術を身につける。				2 ス 4 実
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>スポーツは、競技レベルから一般愛好家レベルまで幅広く行われている活動です。どの競技レベルにおいても、スポーツにおける外傷・障害は、予防することが第一となります。</p> <p>本講義では、スポーツに関連の深い障害外傷のメカニズムを理解し、トレーニング方法、テーピング、評価方法および応急処置を学びます。スポーツとケガは関連が深く、一度生じた外傷や障害を完治せず、もしくは適切な処置を行わずにプレーを継続することは、さらに状態を悪化させてしまうことを念頭においてください。理学療法士、作業療法士とも病院で治療を行うことが主となる職種ですが、スポーツでケガをした方々の治療を行う場合は、スポーツ活動の特性を踏まえ、予防策、応急処置に至るまで指導できるよう心がけましょう。</p>					
教科書・参考書					
<p>【教科書】指定なし ※授業時適宜配布。 【参考図書】基礎運動学第6版、整形外科に関する書籍、テーピングに関する書籍、スポーツ外傷障害に関する書籍</p>					
受講時留意点、その他					
各講義において実習ができる服装で参加すること。 テーピングなど物品の取り扱いを丁寧にする。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0	実施しない			
小テスト	0	実施しない			
レポート	0	実施しない			
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	100	<p>行動観察: 第10回にテーピングもしくはバンデージの実施 ⇒評価: 正確性・実施時間(1分間)・仕上がりの3項目で評価。第10回実施。 科目に対する興味、関心、学習に対する積極性が良好な場合、加点の対象とする場合がある。 授業に対する迷惑行為、清潔感にかける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。</p>			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	コースオリエンテーション・スポーツ基本動作について この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 6つスポーツの基本動作について理解する。 【キーワード】スポーツ基本動作・特徴	赤岩	配布資料	講堂
第2回 4月22日	スポーツ傷害外傷について スポーツ傷害・外傷および応急処置について理解する。 【キーワード】スポーツ傷害外傷・応急処置・	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第3回 5月6日	足関節捻挫のメカニズム 足関節の構造と捻挫を生じるメカニズムについて理解する。 【キーワード】足関節・靭帯・検査方法	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第4回 5月13日	バンデージ実習① 足関節捻挫 足関節捻挫のバンデージを体験する。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第5回 5月20日	バンデージ実習② 足関節捻挫 足関節捻挫のバンデージをできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第6回 5月27日	テーピング実習① 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第7回 6月3日	テーピング実習② 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第8回 6月10日	テーピング実習③ 足アーチサポート 足アーチサポートなどのテーピングを体験する。 【キーワード】足アーチ・外反拇趾・扁平足	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第9回 6月17日	テーピング実習④ 膝関節靭帯損傷 膝関節のテーピングを体験する。 【キーワード】膝関節・十字靭帯・側副靭帯	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第10回 6月24日	復習:実技確認 バンデージもしくはテーピングの実技習熟度を確認する。	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第11回 7月1日	スポーツ傷害の検査測定方法① 上肢のスポーツ外傷障害の検査測定方法について理解する。 【キーワード】整形外科検査・動作観察・HOPSS	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第12回 7月1日	スポーツ傷害の検査測定方法② 下肢体幹のスポーツ外傷障害の検査測定方法について理解する。 【キーワード】整形外科検査・動作観察・HOPSS	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第13回 7月8日	障害の応急処置 スポーツ傷害発生時の応急処置について理解する。 【キーワード】RICE処置・アイシング・処置手順	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第14回 7月15日	アスレティックリハビリテーション① 上肢体幹のスポーツ外傷障害のアスリハについて理解する。 【キーワード】コンディショニング・筋力トレーニング・動作練習	赤岩	配布資料	治療室・機能訓練室
第15回 7月22日	アスレティックリハビリテーション② 下肢体幹のスポーツ外傷障害のアスリハについて理解する。 【キーワード】コンディショニング・筋力トレーニング・動作練習	赤岩	配布資料	講堂
定期試験	実施しない。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	福祉環境論	2	30	選択	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科2年 作 業療法学科2年	中原 留美子	PT学科:日常生活活動学・地域リハ学 OT学科:日常生活技術学・リハ関連機器・義肢装具学・地域OT学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	障害者の住環境を整え、その人らしい生活を送れるよう支援する知識や技術を身につける。				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 住環境整備の意義や考え方を理解する。 2. 高齢者や障害者の特性に合った住環境整備について具体的な方法を理解する。 3. 福祉用具の種類や活用方法を具体的に理解する。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>理学療法士・作業療法士にとって、障害者の住環境をどのように整備するかを理解することはとても重要なことです。本講義では、福祉住環境コーディネーターの知識や技術を通して、福祉用具を含めた福祉住環境のあり方を学んでいきます。この分野は個性を重視することも大切なことであり、正解は1つではありません。グループワークを通して、さまざまな考え方や価値観・人生観をお互いに理解することにより、これから出会う対象者の方々に向き合う時に役に立ちます。また、疾患の理解を必要としますので、関連の深い科目以外の科目についても知識を確認しておいてください。特に、ICFを用いて、健康、心身機能・身体構造、活動・参加、個人因子、環境因子との関連性から、住環境を考えるトレーニングをします。積極的に理解を深める努力をしましょう。</p>					
教科書・参考書					
東京商工会議所発行 福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト(改訂4版)					
受講時留意点、その他					
<p>健康管理に留意し、欠席ないようにしましょう。疾患ごとの住宅環境を考えることとなりますので、関連する科目の教科書および資料を準備しましょう。グループワークでは、積極性と協調性が求められます。自分の考えを人に伝える、相手の思いを理解するなど、建設的な意見交換ができるようにしましょう。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト	100	小テストを4回実施します。前回までの間の知識を確認します。小テスト実施日に体調不良等で欠席をした場合、後日実施をするため、中原まで申し出てください。ただし、結果の80%を加算することになりますので、ご了承ください。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		授業内での積極的な発言(質問や意見・発表)などをおこなった場合、1コマ毎に自己申告してもらいます。発言内容によっては加点します。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月8日	コースオリエンテーション この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 「住まい」とはどのようなものかを話し合い、発表する。 【キーワード】住まいとは・KJ法	中原		
第2回 4月22日	福祉住環境とPT・OTとの関連性 福祉住環境の考え方・必要性について理解する。 【キーワード】住まいとは・福祉住環境とは・環境整備の必要性	中原		
第3回 5月6日	住宅環境を考えるために必要な知識 ① ICFからどのような知識が必要となるかを理解する。 【キーワード】ICF	中原		
第4回 5月13日	第5章 福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識 建築基準法等の制度と構造上の基本的知識を理解する。 【キーワード】建築基準法・段差・手すり・建具・モジュール	中原	222-294	
第5回 5月20日	第6章 在宅生活における福祉用具の活用 ② 福祉用具の選択と効果判定、各福祉用具の特徴を理解する。 【キーワード】福祉用具・ベッド・移動・段差解消・排泄・入浴	中原	328-380	
第6回 5月27日	ADLと住宅改修 排泄行動の動線から、必要な心身機能・身体構造を捉え、住宅改修の必要性を理解する。 【キーワード】ADL・動線・改修時の留意点	中原		
第7回 6月3日	第2章 障害の捉え方と自立支援のあり方 ICFを通して、どのように障害を捉え自立支援をしていくかを理解する。 【キーワード】ICF・大腿骨頸部骨折・独居	中原	70-102	
第8回 6月10日	第2章 障害の捉え方と自立支援のあり方 ICFを通して、どのように障害を捉え自立支援をしていくかを理解する。 【キーワード】ICF・大腿骨頸部骨折・独居	中原		
第9回 6月17日	RAと福祉住環境(事例:歩行レベル)③ 関節リウマチの事例について、ICFを通して、住宅改修を理解する。 【キーワード】関節リウマチ・ICF・住宅改修・グループワーク	中原		
第10回 6月24日	CVAと福祉住環境(事例:軽度片麻痺) 軽度片麻痺の事例について、ICFを通して、住宅改修を理解する。 【キーワード】重度片麻痺・車いす・ICF・住宅改修・グループワーク	中原		
第11回 7月1日	CVAと福祉住環境(事例:重度片麻痺) 重度片麻痺の事例について、ICFを通して、住宅改修を理解する。 【キーワード】重度片麻痺・車いす・ICF・住宅改修・グループワーク	中原		
第12回 7月1日	CVAと福祉住環境(事例:重度片麻痺) 重度片麻痺の事例について、ICFを通して、住宅改修を理解する。 【キーワード】重度片麻痺・ICF・住宅改修・グループワーク	中原		
第13回 7月8日	脊髄損傷と福祉住環境(事例:C6BIIレベル) 脊髄損傷の事例について、ICFを通して、住宅改修を理解する。 【キーワード】脊髄損傷・ICF・住宅改修・グループワーク	中原		
第14回 7月15日	脊髄損傷と福祉住環境(事例:C6BIIレベル) 脊髄損傷の事例について、ICFを通して、住宅改修を理解する。 【キーワード】脊髄損傷・ICF・住宅改修・グループワーク	中原		
第15回 7月22日	第4章 相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方 ④ 対象者や家族の思いを考えつつ、住環境整備の相談援助の進め方を理解する。 【キーワード】相談援助技術・対象者と家族の思い	中原	182-220	
定期試験	①～④の小テストの範囲は、テスト間の知識の確認とします。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	内科学Ⅱ	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科2年 作業療法学科2年	鈴木 淳 (非常勤)	解剖学Ⅱ、生理学、病理学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	内科学における症候学、診断、治療を理解する				
行動目標 (SBO)	血液・造血器疾患、代謝性疾患、内分泌系疾患、腎・泌尿器系疾患 等				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
医学の中心的学問である。内科学における症候学、診断、治療を理解するとともに、リハビリテーション専門職として理学・作業療法の実践やリスク管理に必要な知識を習得する。内科学の思考過程を理解するとともにリハビリテーション学との関連性について理解する。					
教科書・参考書					
前田 眞治／著:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第3版. 医学書院.					
受講時留意点、その他					
前期、毎週金曜日の3時限目に開講します。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月8日	血液・造血器疾患	鈴木		107・8
第2回 4月22日	血液・造血器疾患	鈴木		107・8
第3回 5月6日	代謝性疾患	鈴木		107・8
第4回 5月13日	代謝性疾患	鈴木		107・8
第5回 5月20日	内分泌系疾患	鈴木		107・8
第6回 5月27日	内分泌系疾患	鈴木		107・8
第7回 6月3日	腎・泌尿器疾患	鈴木		107・8
第8回 6月10日	腎・泌尿器疾患	鈴木		107・8
第9回 6月17日	RA	鈴木		107・8
第10回 6月24日	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全	鈴木		107・8
第11回 6月30日	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全	鈴木		107・8
第12回 7月8日	感染症疾患	鈴木		107・8
第13回 7月15日	感染症疾患	鈴木		107・8
第14回 7月22日	中毒および環境要因による疾患・皮膚疾患	鈴木		107・8
第15回 7月22日	内科疾患とリハビリテーション、第1回～第14回の復習 等	*専任教員		107・8
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎専門	神経内科学	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 2年 作業療法学科 2年	井上 聖啓（内田 成男）	基礎医学科目、臨床心理学、精神医学、小児科学、神経機能評価学、神経系を中核とした理学・作業療法学等			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標（GIO）	神経症候および主な神経疾患の病態と診断、治療について理解を深め、対象疾患に対する評価法と基本的なリハビリテーション治療への理解を深めることを目標としている。				
行動目標（SBO）	以下の事項を行動目標とする。 1) 神経系の機能解剖について説明できる。 2) 主な神経学的検査法を理解し、実践できる。 3) 主要な神経症候を理解し説明できる。 4) 主要な神経・筋疾患について理解する。 5) 主要な神経・筋疾患のリハについて考えることができる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>理学療法(士)・作業療法(士)の対象疾患として、神経・筋疾患は重要な疾患群であり、適切な理学療法、作業療法を実践するためには、これらの疾患群に対する十分な知識が求められる。</p> <p>理解を深めるためには、神経系、特に中枢神経系の機能解剖と主な疾患の関係性を踏まえて学習を進めると良いでしょう。また、実際の症候がどのような意味を持つのかを考えながら、主要な神経疾患の特徴を把握できるようにしましょう。分からないことは積極的に質問できるようにしましょう。</p>					
教科書・参考書					
<p>【教科書】川平 和美(編):標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第4版, 医学書院, 2013</p> <p>【参考図書】医療情報科学研究所:病気がみえるvol7.脳・神経, メディックメディア, 2011</p>					
受講時留意点、その他					
積極的な受講態度で授業に臨んでください。教科書を中心にしっかりと予習・復習をしてください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	重要な事項を中心に記述式の試験を予定しています。			
小テスト	0	授業の復習を中心に2～3回程度の予定しています。理解が不十分な事項をしっかりと確認できるようにしましょう。			
レポート	0	小テストで理解が不十分な場合に、課題レポートの提出を考慮します。			
実技試験	0	なし			
プレゼンテーション	0	なし			
その他		授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とする場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーションと中枢神経系の機能解剖 授業の目標と進め方について解説する。中枢神経系の機能解剖および可塑性について理解する。【キーワード】中枢神経系、伝導路、脳血管系、情報処理、可塑性	内田	p5-31	107・8
第2回 4月28日	神経学的診断法: 神経学的診察と障害、画像診断、神経生理学的検査法などの要点を理解する。【キーワード】髄膜刺激症状、反射、協調運動、CTとMRIの特徴、神経伝導検査、筋電図、血液生化学検査など	井上 1時限目	p35-66	107・8
第3回 4月28日	神経症候学①: 意識障害・脳死、頭痛・めまい・失神、運動麻痺、筋萎縮、錐体外路症候、不随意運動の概要を学ぶ。【キーワード】傾眠～昏睡、JCS・GCS、運動ニューロン障害、筋緊張(痙縮と固縮)・他	井上 2時限目	p69-90	107・8
第4回 5月2日	神経症候学②: 運動失調、感覚障害および高次脳機能障害(失語症)の概要を学ぶ。【キーワード】運動失調(脊髄性、小脳性など)、特殊感覚、体性感覚(表在・深部)、失語症、他	井上 1時限目	p91-113	107・8
第5回 5月2日	神経症候学③: 高次脳機能障害(失認、失行、記憶)の概要を学ぶ。【キーワード】半側空間無視、身体失認、観念運動失行、観念失行など、運動維持困難、短期記憶、長期記憶、健忘など	井上 2時限目	p114-137	107・8
第6回 5月6日	神経症候学④: 高次脳機能障害(注意、遂行機能)、構音障害、嚥下障害の概要を学ぶ。【キーワード】注意、遂行機能、構音障害、嚥下の相、球麻痺、仮性球麻痺など	井上 1時限目	p138-158	107・8
第7回 5月6日	各論①: 脳血管障害の病態、分類、診断、医学的治療について学ぶ。【キーワード】NINDSⅢ分類、脳梗塞・脳出血、画像診断、急性期治療、rt-PA療法、外科的・保存的治療、合併症など	井上 2時限目	p167-196	107・8
第8回	確認と復習Ⅰ: 第1～7回目までの授業の復習を実施し、後半の授業に向けて重要事項を確認・整理する。(確認小テスト)	内田		107・8
第9回 5月10日	各論②: 認知症、脳腫瘍の概要について学ぶ。【キーワード】認知症鑑別診断、周辺症状、Alzheimer病、脳腫瘍の分類、主な脳腫瘍、	井上 3時限目	p197-219	107・8
第10回 5月10日	各論③: 外傷性脳損傷、変性疾患、脱髄疾患について学ぶ。【キーワード】急性と慢性硬膜下血腫、脳挫傷、びまん性軸索損傷、SCD、OPCA、MSA、多発性硬化症、ALS、多発性硬化症、他	井上 4時限目	p220～225 p241～248	107・8
第11回 6月1日	各論④: 錐体外路の変性疾患(パーキンソン病)について学ぶ。【キーワード】4大徴候、自律神経障害、Hoehn and Yahr重症度分類、薬物療法、症候性パーキンソニズム、他	井上 2時限目	p249～261	107・8
第12回 6月1日	各論⑤: 主要な筋疾患について学ぶ。【キーワード】筋ジストロフィー(特にDuchenn型)、重症筋無力症、多発性筋炎、他	井上 3時限目	p274～286	107・8
第13回 6月2日	各論⑥: 感染性疾患、中毒・栄養欠乏による神経疾患について学ぶ。【キーワード】髄膜炎、脳炎、クロイツフェルト-ヤコブ病、HAM、HIV、ポリオ、中毒性疾患、ウェルニッケ脳症、他	井上 3時限目	p287～300	107・8
第14回 6月2日	各論⑦: 小児神経疾患:脳性麻痺、二分脊椎、排尿障害等について学ぶ。【キーワード】脳性麻痺の原因、診断、分類、二分脊椎の主要症状、Down症、排尿のメカニズム、神経因性膀胱、他	井上 4時限目	p301～320	107・8
第15回	確認と復習Ⅱ: 第9回～14回までの講義のまとめ・重要事項の確認、質疑応答を含めた総合討論。(確認小テスト)	内田		107・8
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	整形外科学Ⅱ	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科2年 作業療法学科2年	福塚 邦太郎(非常勤)	解剖学Ⅰ、整形外科学Ⅰ ほか			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	整形外科の概論、検査、治療法を学習する。				
行動目標 (SBO)	検査法、治療法、炎症性疾患、代謝・内分泌疾患 等				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
整形外科の概論を理解するとともに、検査(画像含む)、治療法(保存的、手術、薬物)等の概略を学習する。また、疾患ごとの各論を学び、臨床に即した知識の整理をする。					
教科書・参考書					
立野勝彦／著:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学. 医学書院.					
受講時留意点、その他					
前期、毎週水曜日4時限目に開講します。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	整形外科基礎知識	福塚		107・8
第2回 4月13日	運動器の評価および検査法	福塚		107・8
第3回 4月20日	整形外科的治療法	福塚		107・8
第4回 4月27日	炎症性疾患	福塚		107・8
第5回 5月11日	代謝・内分泌性疾患、退行性疾患	福塚		107・8
第6回 5月18日	先天性骨・関節疾患	福塚		107・8
第7回 5月25日	循環障害と壊死性疾患	福塚		107・8
第8回 6月1日	循環障害と壊死性疾患 ※5時限目	福塚		107・8
第9回 6月8日	骨・軟部腫瘍	福塚		107・8
第10回 6月15日	神経・筋疾患	福塚		107・8
第11回 6月22日	神経・筋疾患	福塚		107・8
第12回 6月29日	脊椎の疾患	福塚		107・8
第13回 7月6日	脊髄損傷	福塚		107・8
第14回 7月13日	脊髄損傷	福塚		107・8
第15回 7月20日	切断および離断	福塚		107・8
定期試験 未定				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	小児科学	1	15	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科2年 作業療法学科2年	佐藤 博美(非常勤) 佐藤 倫子(非常勤)	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学、病理学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法および作業療法の臨床に必要な小児疾患の基礎知識を習得する。				
行動目標 (SBO)	新生児・未熟児疾患、先天異常、神経疾患 ほか				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
理学および作業療法の臨床に必要な、小児の成長と発達、小児保健、新生児・未熟児・小児期の疾患に対する基礎知識を習得する。 授業方法は、教科書、配布資料を基にした講義をワークを予定。					
教科書・参考書					
富田豊／編：標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第4版. 医学書院.					
受講時留意点、その他					
前期、火曜日1限に開講します。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月19日	小児科学概要・診断と治療の概要	佐藤		107・8
第2回 4月26日	新生児・未熟児疾患	佐藤		107・8
第3回 5月10日	先天異常と遺伝病	佐藤		107・8
第4回 5月17日	神経疾患(1)	佐藤		107・8
第5回 5月24日	神経疾患(2)	佐藤		107・8
第6回 5月31日	神経疾患(3)、筋・骨疾患	佐藤		107・8
第7回 6月7日	心身症・神経症・発達障害・重症心身障害児	佐藤		107・8
第8回 6月14日	呼吸器疾患・循環器疾患	佐藤		107・8
第9回 6月21日	感染症	佐藤		107・8
第10回 6月28日	消化器疾患、内分泌・代謝疾患	佐藤		107・8
第11回 7月5日	免疫・アレルギー疾患、膠原病、血液疾患	佐藤		107・8
第12回 7月12日	腎泌尿器生殖器疾患、腫瘍性疾患、眼科・耳鼻科的疾患	佐藤		107・8
定期試験 未定				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	中原留美子	運動学・解剖学ⅠⅡ・生理学・作業療法評価学・作業療法評価学実習・身体障害作業療法学・中枢神経障害作業療法学・同実習ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	身体障害領域の作業療法で用いられる評価について、目的・方法・手順・結果の解釈がわかる				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関節可動域検査の一般的方法と各検査部位の基本事項がわかる 2. 徒手筋力検査法の一般的方法と各検査部位の基本事項がわかる 3. 知覚、筋緊張、反射、バランス機能、上肢機能、認知機能の評価の目的、検査の種類と方法がわかる 4. 身体障害領域の評価項目選択方法がわかる 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この科目では、特定の疾患によらず、身体障害領域でよく用いられる「身体構造・心身機能」レベルの評価方法を学びます。身体障害領域の各論講義すべての基礎となる授業ですので、十分に理解してください。講義を中心として、一部、実技を交えながら行います。関節可動域測定・徒手筋力検査法の実技は「作業療法評価学実習」で主に行いますので、本科目で基礎知識を理解して臨んでください。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書:標準作業療法学 作業療法評価学 第2版(医学書院)、新・徒手筋力検査法、配布資料 参考図書:基礎運動学(医歯薬出版)、ベッドサイドの神経の診かた(南山堂)、医学事典</p>					
受講時留意点、その他					
<p>運動・解剖・生理学の知識を必要とします。予習(1年次の復習)項目をお知らせしますので、基礎知識を確認して受講してください。 実技を行う際には、被験者への敬意を持って接し、感染対策に努めてください。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	前期末試験を行う。60点以上が合格の基準点である。試験範囲は、第1回から第15回の講義及び、参照した教科書の記載内容である。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100%				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	授業オリエンテーション : 身体障害領域の評価の目的と方法 関節可動域の評価 : 関節運動の種類と関節可動域制限の原因 キーワード: 評価の目的・関節運動の種類・関節可動域制限の種類	中原	pp81-103	OT実習室2・ 装具加工室
第2回 4月8日	関節可動域の評価 : 関節可動域検査の原則と方法 筋力の評価 : 筋力の種類・徒手筋力検査 キーワード: ROMT・筋力とは・MMT	中原	pp104-120 MMT	OT実習室2・ 装具加工室
第3回 4月11日	筋力の評価 : 徒手筋力検査法各論とその他の筋力検査 キーワード: 各部位の筋力測定方法・握力・ピンチ力	中原	pp104-120 MMT	OT実習室2・ 装具加工室
第4回 4月18日	知覚の評価 : 知覚機能の基礎の復習と知覚の障害 キーワード: 知覚の種類・知覚障害を起こす疾患・知覚検査の目的	中原	pp121-127	OT実習室2・ 装具加工室
第5回 4月25日	知覚の評価 : 知覚の評価方法(講義と実習) キーワード: 知覚検査の種類・知覚検査の実施方法	中原	pp127-136	OT実習室2・ 装具加工室
第6回 5月9日	筋緊張・深部腱反射・病的反射 : 検査(講義と実習) キーワード: 筋緊張とは・反射とは・反射検査の方法・反射検査の目的	中原	pp157- 164, 137- 144	OT実習室2・ 装具加工室
第7回 5月16日	上肢機能評価 : 上肢機能の基礎と上肢機能評価の方法(講義と実習) キーワード: 上肢機能とは・各部位の役割・上肢機能検査の種類	中原	pp200-208	OT実習室2・ 装具加工室
第8回 5月23日	上肢機能評価 : 上肢機能評価の方法(講義と実習) キーワード: 上肢機能検査の実施方法	中原	pp200-208	OT実習室2・ 装具加工室
第9回 5月30日	バランス機能の評価 : バランス機能の基礎とバランス評価の方法(講義と実習) キーワード: バランスとは・姿勢制御システム	中原	基礎運動 学 作業療法 評価学	OT実習室2・ 装具加工室
第10回 6月6日	バランス機能の評価 : バランス評価の方法(講義と実習) キーワード: バランス検査の種類・バランス検査の方法	中原	作業療法 評価学	OT実習室2・ 装具加工室
第11回 6月13日	協調性の評価 : 失調症状の復習と協調性評価の方法(講義と実習) キーワード: 失調症状とは・協調性の検査法	中原	pp166-171	OT実習室2・ 装具加工室
第12回 6月20日	認知機能の評価 : 認知機能の基礎と認知機能評価の方法(講義と実習) キーワード: 認知機能とは・全般的な認知障害の検査方法	中原	pp638-648	OT実習室2・ 装具加工室
第13回 6月27日	評価項目の選択方法 講義と演習: 診断名・基礎情報から選択する	中原	作業療法 評価学・医 学事典	OT実習室2・ 装具加工室
第14回 7月4日	評価項目の選択方法 講義と演習: 診断名・基礎情報から選択する	中原	作業療法 評価学・医 学事典	OT実習室2・ 装具加工室
第15回 7月11日	評価項目の選択方法 講義と演習: 対象者の作業から選択する	中原	作業療法 評価学	OT実習室2・ 装具加工室
定期試験	前期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法評価学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
2年作業療法学科	大庭 俊裕	精神障害作業療法学 精神医学 臨床心理学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	精神障害を捉える評価方法・技術を身につける				
行動目標 (SBO)	1. 観察の視点を理解し、観察法が実践できる 2. 面接の視点を理解し、面接法が実践できる 3. 状況性と関係性を踏まえた考察ができる				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
精神障害領域の作業療法における評価法の中心となる「観察法」および「面接法」について講義・実技を通してその理解と習得を図ります。					
教科書・参考書					
1. 精神障害と作業療法 第3版 三輪書店 2. 作業療法学全書 改訂第3版 5 作業治療学2 精神障害 協同医書出版社 3. 精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版 中央法規					
受講時留意点、その他					
積極的に受講してください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	評価法に関する知識など			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月30日	オリエンテーション 精神障害領域の評価法 「受容・傾聴・共感、アクティブリスニング」	大庭		105
第2回 6月6日	作業療法評価の手順 基本的な流れ① 「導入・初期評価と援助計画」	大庭	1. 127-136	105
第3回 6月7日	作業療法評価の手順 基本的な流れ② 「実施と効果検討、方向の修正、終了、アフターフォロー」	大庭	1.137-143	105
第4回 6月13日	評価技法① 「評価項目・手段」	大庭	1.144-149	105
第5回 6月13日	評価技法② 「情報収集」	大庭	1.144-149	105
第6回 6月20日	評価技法③ 「面接①:面接の構造と特徴・、物理的要素、形態、種類」	大庭	1.144-149	105
第7回 6月21日	評価技法④ 「面接②:留意点、作業面接」	大庭	1.144-149	105
第8回 6月27日	評価技法⑤ 「面接③:演習」	大庭	1.150-156	105
第9回 6月28日	評価技法⑥ 「観察①:構造、形態、関与、非言語的サイン」	大庭	1.157-163	105
第10回 7月4日	評価技法⑦ 「観察②:生活活動の観察、基本的な参加能力の観察」	大庭	1.157-163	105
第11回 7月5日	評価技法⑧ 「観察③:作業観察および作業面接」	大庭	1.157-163	105
第12回 7月11日	評価技法⑨ 「検査と調査」	大庭	1.157-163	105
第13回 7月12日	計画—個人プログラム 「目標設定、計画作成、アウトカム」	大庭	1.164-165	105
第14回 7月19日	演習:事例検討	大庭		105
第15回 7月19日	振り返りとまとめ	大庭		105
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	発達障害作業療法評価学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	植田伊津子 中原留美子	人間発達学・作業療法評価学・小児科学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	発達障害領域におけるの作業療法評価の流れ・目的・方法を知ることができる。				
行動目標 (SBO)	1. 発達障害の作業療法の対象について述べるができる。 定型発達の知識を身につけることができる。 3. 遊びについて説明することができる。 4. 発達障害領域の作業療法評価の流れを説明できる。 5. 発達障害領域の作業療法評価の方法と目的を説明できる。				2.
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>発達障害領域の作業療法においては、正常発達の理解が必須となります。正常発達の十分な理解から、発達の障害となっている問題が見えてきます。発達障害作業療法の対象となる疾患は、中枢神経系疾患、末梢神経系疾患、整形外科的疾患、神経・筋疾患、内科的疾患、感覚器の障害、小児精神障害など多岐にわたります。それぞれの疾患の理解はもちろんですが、発達障害領域の作業療法では、一次的障害から発達を阻害するという二次的障害を予防するための関わりが重要であることから、全般的な発達状況を常に把握していることが重要となります。この科目では、正常発達を理解するために、映像教材を用いながら、年齢の特徴を捉え、作業療法で用いる評価方法とその目的を学びます。</p>					
教科書・参考書					
教科書:神作一実編, 作業療法学ゴールドマスターテキスト7 発達障害作業療法学 第2版, メジカルビュー社, 2015 参考 書:授業内で適時紹介する。					
受講時留意点、その他					
<p>講義と演習が中心となります。自らの体を動かし学び、グループでディスカッションする機会があります。積極的に自分から授業内で習得するように学んでください。持ち物、服装について、授業内・掲示板でお知らせすることがあります。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	第1～15回の内容が範囲となります。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	コースオリエンテーション・発達障害に対する作業療法について この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。発達障害の定義・作業療法の目的等を理解する。 【キーワード】発達障害・発育・作業療法の目的・歴史	植田	pp2～6	109
第2回 4月11日	胎児期、乳児期の発達過程 母子手帳の内容を参考にし、出産時状況・身体発育・運動発達過程を理解する。 【キーワード】発育・マイルストーン・個人差	植田	配布資料	109
第3回 4月18日	姿勢・運動発達とその背景① 粗大運動発達について学ぶ。姿勢反射の発現と統合、誘発方法と判定について理解し、運動発達の関係を理解する。 【キーワード】粗大運動、姿勢反射・時期・誘発方法	植田	pp8～15 配布資料	109
第4回 4月25日	姿勢・運動発達とその背景② 粗大運動発達について学ぶ。姿勢反射の発現と統合、誘発方法と判定について理解し、運動発達の関係を理解する。 【キーワード】粗大運動・姿勢反射・時期・誘発方法	植田	pp8～15 配布資料	109
第5回 5月9日	姿勢運動発達とその背景③ 微細運動発達、口腔運動発達について学ぶ。 【キーワード】把握・つまみ・摂食機能	植田	pp8～15 配布資料	109
第6回 5月16日	感覚統合機能の発達 感覚統合機能の発達について学ぶ。 【キーワード】感覚統合、発達段階	植田	pp16～17 配布資料	109
第7回 5月23日	認知・思考機能、コミュニケーション機能の発達 定型発達児の認知・思考機能、コミュニケーションの発達について学ぶ 【キーワード】言語理解、言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション	植田	pp18～20配 布資料	109
第8回 5月30日	子どもの発達と遊び 遊びとは何か、遊びの分類について学ぶ 【キーワード】遊び、分類、発達の意義	植田	pp21～25 配布資料	109
第9回 6月6日	セルフケアの発達と遊び 【キーワード】遊び・ADL・評価	植田	pp26～27 配布資料	109
第10回 6月13日	セルフケアの発達と遊び 【キーワード】遊び・ADL・評価	植田	pp26～27 配布資料	109
第11回 6月20日	発達障害領域の作業療法評価 作業療法評価の流れ、情報収集および面接、観察の視点について学ぶ 【キーワード】評価	植田	pp30～36 配布資料	109
第12回 6月27日	発達検査 さまざまな発達検査の目的と方法を理解する。 【キーワード】デンバーⅡ・JMAP・ITPA・WPPSI・K-ABC・DAM・遠城寺乳幼児分析の発達検査法	植田	pp37～40	109
第13回 7月4日	評価結果と障害構造の分析 作業療法評価をICFに基づいてまとめて、全体像を把握し、作業療法の介入について理解する。 【キーワード】ICF・評価・目標・介入	植田	pp41～46	109
第14回 7月21日	発達検査 さまざまな発達検査の方法と目的を理解し、検査を実施する。 【キーワード】JMAP・ITPA・WPPSI・K-ABC・DAM	中原	pp37～40	OT実習室1 機能訓練室
第15回 7月21日	乳幼児の評価 遊びの場面を設定し、グループで子どもの評価を実施する。	植田	配布資料	OT実習室1 機能訓練室
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	市村紋子ほか	脳神経外科学、神経内科学、中枢神経障害作業療法学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	高次脳機能障害を持つ対象者への作業療法評価および関わりを理解する				
行動目標 (SBO)	脳疾患に関連する高次脳機能障害の症状が説明できる 高次脳機能の各障害に対する検査を挙げ、方法が説明できる 高次脳機能障害の対象者に対する評価の項目と方法が説明できる 高次脳機能障害の対象者に対する作業療法の手段を挙げることが出来る				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この科目では、作業療法の対象者でしばしば見られる高次脳機能障害と、その評価・アプローチについて学びます。障害の多くは脳疾患によって生じますので、脳(特に大脳)の解剖学の理解が不十分な人は、よく復習しましょう。特に、大脳各部の構造と役割は理解しておいてください。分かりにくいところは、早めに質問して解決してください。 高次脳機能障害を持つ対象者への治療では、作業療法士がチーム内で中心的役割を担うことも少なくありません。授業を通して関心を高めてもらえるとよいと思います。					
教科書・参考書					
岩崎テル子ほか編. 作業療法評価学 第2版. 医学書院. 2011. 鈴木孝治編. 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 高次脳機能障害作業療法学. Medical View. 2012. 鎌倉矩子・本田留美著. 高次脳機能障害の作業療法. 三輪書店. 2010 医療情報科学研究所 編. 病気がみえる vol.7 脳・神経. メディックメディア. 2012					
受講時留意点、その他					
欠席した場合は、次の授業の前日までに内容と配布資料を確認し、不明な点があれば教員まで確認しにきてください。配布資料等は余分に準備していませんので、各自、入手してください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	特別講義をのぞいた13回分の講義すべてが試験範囲である。60点以上が、本科目の単位取得の条件である。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		第14-15回は、浜松リハビリテーション病院 秋山尚也先生の特別講義です。日程が変更となる場合があります。掲示等の連絡を確認してください。			
(合計)	100%				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 9月5日	高次脳機能障害総論 キーワード: 脳の階層性、脳の左右のバランス、脳の前後のバランス、回復	市村	高次脳機能障害pp3-7	109
第2回 9月5日	半側空間無視の病態と評価 キーワード: 自己中心空間、物体中心空間、注意障害説、アウェアネス	市村	高次脳機能障害作業療法学pp82-93	109
第3回 9月12日	半側空間無視のアプローチ・右半球損傷の症状 キーワード: 半側身体失認、注意障害	市村	高次脳機能障害作業療法学pp82-93	109
第4回 9月26日	半側空間無視の検査方法 キーワード: 線分二等分テスト、線分末梢テスト、模写テスト、BIT	市村	高次脳機能障害作業療法学pp82-93	OT1
第5回 10月3日	認知を中心とした障害の評価とアプローチ(視覚認知の障害) キーワード: 視覚失認、視空間認知障害、視覚の背側路と腹側路	市村	高次脳機能障害作業療法学pp108-122	109
第6回 10月3日	失行と行為の障害 キーワード: 観念失行、観念運動失行、脳梁離断、前頭葉性の動作障害	市村	高次脳機能障害作業療法学pp168-190	109
第7回 10月17日	失行と行為の障害の評価とアプローチ キーワード: 模倣、物品使用、SPTA	市村	高次脳機能障害作業療法学pp168-190	OT1
第8回 10月17日	注意障害の評価とアプローチ キーワード: 注意の種類・ワーキングメモリー・注意障害の検査	市村	高次脳機能障害作業療法学pp60-81	109
第9回 10月24日	遂行機能障害とその評価 キーワード: 前頭前野、目標達成・企画・調整の障害	市村	高次脳機能障害作業療法学pp192-205	109
第10回 10月31日	遂行機能障害の評価とアプローチ キーワード: BADS, WCST, IADL, 就労	市村	高次脳機能障害作業療法学pp192-205	OT1
第11回 11月7日	記憶障害の評価とアプローチ キーワード: 記憶の分類・健忘の分類・神経心理学的検査	市村	高次脳機能障害作業療法学pp139-157	109
第12回 11月14日	社会的行動障害・高次脳機能障害に関わる社会資源 キーワード: 前頭葉、診断基準、制度、高次脳機能障害支援普及事業	市村	高次脳機能障害作業療法学pp94-105	109
第13回 11月21日	対象者像の把握とアプローチ・総括 キーワード: 情報収集、脳画像、観察	市村		109
第14回 11月28日	高次脳機能障害に対する作業療法の実際	秋山		109
第15回 12月5日	高次脳機能障害に対する作業療法の実際	秋山		109
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学実習	3	135	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	岡本博行・松尾祐介 中原留美子・中村毎途・市村紋子	運動学、作業療法評価学、中枢神経障害作業療法学、中枢神経障害作業療法学実習、身体障害作業療法評価学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業療法を行う上で必要となる、基礎的な評価法を身につける 対象者の疾患特性に応じて、基本的な検査を選択・実施することが出来る				
行動目標 (SBO)	<p>【前期】各評価における目的と検査方法を理解し、実施することができる ①姿勢の評価ができる。 ②人の関節を動かすことができる。③基本軸・移動軸を理解している。 ④関節可動域を正確に測定できる。⑤筋の触診ができる。 ⑥テストしている筋名および支配神経を覚えている。⑦MMTを正確に実施できる 身体障害の対象者の基本情報から、評価項目を挙げることができる 実施する評価の実施方法を説明することができる</p> <p>【後期】模擬的な対象者に初回評価を実施することができる 評価結果を記録することができる 評価結果から問題点を挙げることができる 評価結果から作業療法目標を設定することができる 実施した評価と結果の概要を、レジюмеにまとめることができる</p>				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>【前期】身体機能評価の基礎を学びます。身体機能評価を行う上で頻度の高い関節可動域検査と徒手筋力検査を行います。 関節可動域測定では、実施の前に基本軸や移動軸、参考可動域と注意点についての理解が必要です。 徒手筋力検査では筋の起始・停止や神経支配を確認しておく必要があります。 授業前には予習をしておくことよいでしょう。また、実施の際には骨格や体型によって扱い方が異なってくるため、練習の際には多数の人と練習するとよいでしょう。 ROM7回・MMT8回</p> <p>【後期】前期で学んだ評価方法をもとに、事例を通した評価方法の実践を行います。 疾患の理解と基礎的な評価実践技術を持ち合わせ、対象疾患によって工夫をして評価実践を行います。 評価の列挙、評価の実践、評価結果の統合と解釈、評価結果を紙面でまとめるといったことが出来るように実践的にを行います。 模擬の事例に対してレジюмеの記載の演習を行います。 模擬患者に対して評価列挙、評価実施、記録の記載を行い他部門との模擬的なカンファレンスの経験を行います。 各場面の実技試験(1場面につきおおよそ6回)×5種類 レジюме作成15回 模擬患者を通しての評価やカンファレンス8回</p>					
教科書・参考書					
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 津山直一他訳 新徒手筋力検査法(第8版) (協同医書出版) 中村隆一他著 基礎運動学(第6版) (医歯薬出版)					
受講時留意点、その他					
積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。 実技のできる服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は受講を出来ない場合がある。 授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなどし身だしなみを整える。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
小テスト	0				
レポート	30	評価結果をまとめたレジюмеを評定する			
実技試験	70	各単元での実技試験を行う。試験概要については2週間前には提示を行う。			
プレゼンテーション	0				
その他	0				
(合計)	100	通年の総合成績は、前期と後期に行われる実技試験および各単元での結果を合算したものとす。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	<u>オリエンテーション・触診(ランドマーク)・姿勢評価</u> 授業の目的概要の説明、評価に必要な触診、姿勢の観察	岡本 松尾 中原 中村 毎途		治療室
第2回 4月6日	<u>関節可動域測定(上肢)</u> 肩甲帯・上肢の関節可動域測定の実施	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業療法評価学 P81～103	治療室
第3回 4月13日	<u>関節可動域測定(上肢)</u> 上肢の関節可動域測定の実施	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業療法評価学 P81～103	治療室
第4回 4月20日	<u>関節可動域測定(手指)</u> 手指の関節可動域測定の実施	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業療法評価学 P81～103	治療室
第5回 4月27日	<u>関節可動域測定(下肢)</u> 下肢の関節可動域測定の実施	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業療法評価学 P81～103	治療室
第6回 5月11日	<u>関節可動域測定(頸部・体幹)</u> 頸部・体幹の関節可動域測定の実施	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業療法評価学 P81～103	治療室
第7回 5月18日	<u>関節可動域測定(全体)</u> 上肢・手指・下肢・体幹の関節可動域測定の実施	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業療法評価学 P81～103	治療室
第8回 5月25日	<u>MMT(肩甲帯)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p64～87	治療室
第9回 6月1日	<u>MMT(上肢筋)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p88～142	治療室
第10回 6月8日	<u>MMT(上肢筋)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p88～142	治療室
第11回 6月15日	<u>MMT(上肢筋)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p88～142	治療室
第12回 6月22日	<u>MMT(手指)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p143～179	治療室
第13回 6月29日	<u>MMT(手指)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p143～179	治療室
第14回 7月6日	<u>MMT(下肢筋)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p182～254	治療室
第15回 7月13日	<u>MMT(体幹・全体)</u> 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	新・徒手筋力検査法 p46～55	治療室
前期実技試験	関節可動域測定(ROM-Test)・MMTの実技試験 授業外の時間で、ROM(6/9)・MMT(7/7)それぞれの実技試験を行う	岡本 松尾 中原 中村 毎途		治療室 機能訓練室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 9月1日	MMT下肢・体幹 新・徒手筋力検査の実技、習得	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第17回 9月1日	面接オリエンテーション技術(ニーズ・主訴)提示・演習 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第18回 9月6日	面接オリエンテーション技術(ニーズ・主訴) 演習確認 模擬対象者に対し面接の実施を行う	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	治療室
第19回 9月6日	面接オリエンテーション技術(ニーズ・主訴) 演習確認 模擬対象者に対し面接の実施を行う	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	治療室
第20回 9月7日	評価・治療場面の観察と記録1 キーワード:SOAP, カルテ記載, 記載事項の選択	市村	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	109教室
第21回 9月13日	評価・治療場面の観察と記録2 キーワード:SOAP, カルテ記載, 記載事項の選択	市村	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	109教室
第22回 9月14日	面接オリエンテーション技術(ニーズ・主訴) 実施フィードバック 面接技術の確認に対して振り返りを行う	岡本 松尾 中原 中村 毎途	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第23回 9月14日	ROM検査・Brunnstrom test 提示・演習 対象者に対して適切なROM検査とBrunnstrom testができる事を目的として 実技演習を行う	中村 毎途 岡本 松尾 中原	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第24回 9月20日	評価・治療場面の観察と記録3 キーワード:SOAP, カルテ記載, 記載事項の選択	市村	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	109教室
第25回 9月21日	ROM検査・Brunnstrom test 演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	中村 毎途 岡本 松尾 中原	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	治療室
第26回 9月21日	ROM検査・Brunnstrom test 演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	中村 毎途 岡本 松尾 中原	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	治療室
第27回 9月27日	評価・治療場面の観察と記録4 キーワード:SOAP, カルテ記載, 記載事項の選択	市村	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	109教室
第28回 9月28日	ROM検査・Brunnstrom test 演習確認 模擬対象者に対してROM測定・Brunnstrom testを行う	中村 毎途 岡本 松尾 中原	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	治療室
第29回 9月28日	ROM検査・Brunnstrom test 演習確認 模擬対象者に対してROM測定・Brunnstrom testを行う	中村 毎途 岡本 松尾 中原	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	治療室
第30回 10月4日	評価の解釈とレジュメ作成1:オリエンテーション・事例提示 キーワード:疾患, 病期, 評価項目	市村	作業治療学1 身体 障害 ／作業療法評価学	109教室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第31回 10月5日	<u>ROM検査・Brunnstrom test 実施フィードバック</u> ROM検査・Brunnstrom test実施の振り返りを行う	中村毎途 岡本 松尾 中原	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第32回 10月5日	<u>トランスファー・バランス・感覚検査(CVA) 提示・演習</u> 対象者に対してトランスファー・バランス・感覚検査(CVA)の実技の確認を行う	松尾 岡本 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第33回 10月11日	評価の解釈とレジュメ作成2:評価計画の立案 キーワード:評価項目の列挙	市村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	109教室
第34回 10月12日	<u>トランスファー・バランス・感覚検査(CVA) 演習</u> グループ間または教員の指導によって演習を行う	松尾 岡本 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	治療室
第35回 10月12日	<u>トランスファー・バランス・感覚検査(CVA) 演習</u> グループ間または教員の指導によって演習を行う	松尾 岡本 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	治療室
第36回 10月18日	評価の解釈とレジュメ作成3:評価計画の立案 キーワード:評価時間、評価手順、機器・器具の準備、環境設定	市村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	109教室
第37回 10月19日	<u>トランスファー・バランス・感覚検査(CVA) 実施確認</u> 模擬患者に対してトランスファー・バランス・感覚検査(CVA)の実施を行う	松尾 岡本 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第38回 10月19日	<u>トランスファー・バランス・感覚検査(CVA) 実施確認</u> 模擬患者に対してトランスファー・バランス・感覚検査(CVA)の実施を行う	松尾 岡本 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第39回 10月25日	チームアプローチのための模擬事例評価1:オリエンテーション キーワード:評価項目、評価手順、機器・器具の準備、環境設定	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	109教室
第40回 10月26日	<u>トランスファー・バランス・感覚検査(CVA) 実施フィードバック</u> トランスファー・バランス・感覚検査(CVA)の実施に対して振り返りを行う	松尾 岡本 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第41回 10月26日	<u>事例に対する総合評価 提示・演習</u> 事例に対する総合評価ができることを目的とした提示を行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第42回 11月1日	評価の解釈とレジュメ作成4:評価結果からの問題点の整理 キーワード:ICF分類、問題点と利点	市村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	109教室
第43回 11月2日	<u>事例に対する総合評価 演習</u> グループ間または教員の指導によって演習を行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	治療室
第44回 11月2日	<u>事例に対する総合評価 演習</u> グループ間または教員の指導によって演習を行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	治療室
第45回 11月2日	チームアプローチのための模擬事例評価2:評価演習1 キーワード:中枢神経疾患、検査・測定、面接	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学	治療室 機能訓練室 OT実2 装具加工室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第46回 11月8日	評価の解釈とレジюме作成5:ゴール設定と治療計画立案 キーワード:問題の優先順位、予後予測、整合性	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第47回 11月9日	<u>事例に対する総合評価 実施確認</u> 模擬患者に対し事例に対する総合評価を実施する	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第48回 11月9日	<u>事例に対する総合評価 実施確認</u> 模擬患者に対し事例に対する総合評価を実施する	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第49回 11月9日	チームアプローチのための模擬事例評価3:カルテの記載とカンファレンスの 進め方(講義と演習) キーワード:中枢神経疾患、検査・測定、面接	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	治療室 機能訓練室 OT実2 装具加工室
第50回 11月15日	評価の解釈とレジюме作成6:レジюмеの執筆とフィードバック1 キーワード:書式、個人情報、データの取り扱い	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第51回 11月16日	<u>事例に対する総合評価 実施フィードバック</u> 事例に対する総合評価の実施の振り返りを行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第52回 11月16日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)に向けた演習・提示</u> OSCEの概要、実施に向けた提示	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第53回 11月16日	チームアプローチのための模擬事例評価4:評価演習2 キーワード:中枢神経疾患、検査・測定、面接	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	治療室 機能訓練室 OT実2 装具加工室
第54回 11月22日	チームアプローチのための模擬事例評価5:評価演習3 キーワード:中枢神経疾患、検査・測定、面接	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	治療室 機能訓練室 OT実2 装具加工室
第55回 11月24日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)に向けた演習</u> グループ間または教員の指導によって演習を行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	治療室
第56回 11月24日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)に向けた演習</u> グループ間または教員の指導によって演習を行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	治療室
第57回 11月24日	評価の解釈とレジюме作成7:レジюмеの執筆とフィードバック2 キーワード:書式、個人情報、データの取り扱い	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第58回 11月29日	評価の解釈とレジюме作成8:レジюмеの執筆とフィードバック3 キーワード:書式、個人情報、データの取り扱い	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第59回 11月30日	チームアプローチのための模擬事例評価6:評価結果のまとめ文書の作成 キーワード:情報の整理、問題点の抽出、作業療法治療方針	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第60回 11月30日	チームアプローチのための模擬事例評価7:評価結果のまとめ文書の作成 キーワード:情報の整理、問題点の抽出、作業療法治療方針	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第61回 12月1日	評価の解釈とレジユメ作成9:レジユメの執筆とフィードバック4 キーワード:書式、個人情報、データの取り扱い	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第62回 12月1日	評価実技総合1 キーワード:中枢神経疾患、複合障害、対象者に応じた対応	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第63回 12月7日	評価実技総合2 キーワード:中枢神経疾患、複合障害、対象者に応じた対応	市村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第64回 12月8日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)実施</u> 模擬患者に対してOSCEを実施する	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第65回 12月8日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)実施</u> 模擬患者に対してOSCEを実施する	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第66回 12月14日	チームアプローチのための模擬事例評価8:ケースカンファレンス キーワード:チームアプローチ、情報交換、ゴールの共有	市村・松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学	109教室
第67回 12月15日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)実施フィードバック</u> OSCE実施に対し振り返りを行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
第68回 12月15日	<u>OSCE(客観的臨床能力試験)実施フィードバック</u> OSCE実施に対し振り返りを行う	岡本 松尾 中原 中村毎途	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学	OT実2 装具加工室
後期実技試験	各単元で実技確認等を行う			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法学	4	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	中原留美子・菊池和也・非常勤講師	身体作業療法評価学・作業療法評価学実習・運動学・解剖学・生理学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	身体障害領域の各疾患(整形外科、内部障害、腫瘍など)について、疾患特性・作業療法について理解する				
行動目標 (SBO)	1. 機能障害に対する治療原理・原則・作業療法応用への考え方について説明できる 2. 各疾患に関する基礎的知識を整理し、説明できる 3. 各疾患に対する作業療法評価・治療について説明できる				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>前期は基礎的な知識を中心に学習しながら、特に影響を与える整形外科疾患の作業療法と関係づけて深く理解します。後期は循環器・内部障害・がん・その他の整形外科疾患などを基礎的な知識とともに作業療法について学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識については解剖学・運動学の復習をし、各疾患に関係づけられるようしっかり準備してください。 ・適宜前回授業の確認のため小テストを実施する予定ですので、その結果を学習を深めることに利用してください。 ・授業についていけない、理解が難しいなど困ったことがあれば相談してください。補習を行います。 					
教科書・参考書					
教科書:作業治療学1 身体障害 第3版(協同医歯薬出版) 参考書:作業療法評価学(医学書院) 基礎運動学(医歯薬出版)					
受講時留意点、その他					
その分野に精通した先生の講義を受けることが多くなります。しっかり復習・予習をし、有意義な時間にしてください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	前期末試験・後期末試験を行う。合計120点以上を合格の目安とする。			
小テスト	*	適宜実施する。基本的には成績評価に含めない。			
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	運動器総論:関節可動域の改善 関節運動の注意事項を理解する。 【キーワード】自動運動・関節包内運動・他動運動	中原	P18-25	OT実習室2 装具加工室
第2回 4月8日	運動器総論:筋力・筋持久力の維持増強 筋力増強の基本的な理論がわかる。 【キーワード】最大筋力・等尺性収縮・筋電フィードバック・作業	中原	P25-28	109教室
第3回 4月12日	運動器総論:感覚障害への再教育 感覚の再教育の原理と方法を理解する。 【キーワード】知覚脱失・異常感覚・感覚検査・アクティブタッチ	中原	P28-32	109教室
第4回 4月19日	上肢骨折 基礎的な知識を確認する。治療の原則を理解する。 【キーワード】合併症・整復・固定・CRPS・浮腫のチェック	中原	P148-153	109教室
第5回 4月26日	上肢骨折 橈骨遠位端骨折に対する作業療法評価を理解する。 【キーワード】尺骨突き上げ症候群・CRPS・ICF	中原	P148-153	109教室
第6回 5月13日	上肢骨折 橈骨遠位端骨折に対する作業療法を理解する。 【キーワード】浮腫・関節可動域訓練・プロトコル	中原	P148-153	109教室
第7回 5月17日	末梢神経損傷 末梢神経の構造と損傷分類を理解する 【キーワード】軸索・髄鞘・一過性伝導障害・軸索断裂・神経断裂	中原	P122-124	109教室
第8回 5月24日	末梢神経損傷 末梢神経損傷の障害像、作業療法評価を理解する。 【キーワード】直接的な障害、二次的障害・スクリーニングテスト・浮腫	中原	P125-140	109教室
第9回 5月31日	末梢神経損傷 末梢神経損傷に対する作業療法について理解する。 【キーワード】回復過程と作業療法	末 中原	P125-140	109教室
第10回 6月7日	末梢神経損傷 末梢神経損傷に対する作業療法について理解する。 【キーワード】回復過程と作業療法	末 中原	P125-140	109教室
第11回 6月16日	末梢神経損傷 学生グループワーク(正中神経・尺骨神経・橈骨神経) 【キーワード】機能障害・活動制限・作業療法	中原	P125-140	109教室
第12回 6月28日	関節リウマチ 疾患の概要を理解する	林正春	P185-209	109教室
第13回 6月28日	関節リウマチ リウマチの作業療法の考え方を理解する	林正春	P185-209	109教室
第14回 7月5日	末梢神経損傷 学生発表(正中神経・尺骨神経・橈骨神経) 【キーワード】機能障害・活動制限・作業療法	中原	P125-140	109教室
第15回 7月12日	末梢神経損傷 学生発表(正中神経・尺骨神経・橈骨神経) 【キーワード】診断名・機能障害・活動制限・作業療法	中原	P125-140	109教室
定期試験	前期末試験期間に実施する。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月29日	心疾患の病態 虚血性心疾患、心不全について学ぶ 【キーワード】冠循環、ポンプ機能、心筋虚血、心不全	菊池和也		109
第17回 8月29日	心疾患の評価とリスク管理 【キーワード】心拍数、血圧、運動強度	菊池和也		109
第18回 9月1日	心電図測定と読影 【キーワード】心電図、誘導法、心電図波形、不整脈	菊池和也		機能訓練室
第19回 9月5日	呼吸器の基礎 呼吸器の主な構造・機能、代表的な疾患の病態を学ぶ 【キーワード】気管支・肺、呼吸運動、肺気量分画、BGA、COPD	中原	p.268-277	109
第20回 9月8日	腱損傷 腱の機能解剖の復習、腱損傷の概要を理解する 【キーワード】腱鞘・滑車・腱交叉・ZONE	菊池和子	p.154-161	109
第21回 9月8日	腱損傷 腱断裂術後の作業療法評価・治療の概要を理解する。 【キーワード】3週間固定法・早期運動法・TAM・ブロックEx.	菊池和子	p.154-161	109
第22回 9月12日	呼吸リハビリテーション 呼吸器疾患に対する評価と指導の基本を学ぶ 【キーワード】フローボリューム曲線、呼吸不全、SpO ₂ 、呼吸法	中原	p.268-277	109
第23回 9月26日	循環器疾患の作業療法 【キーワード】リスク管理・ADL訓練	中原	p.258-277	109
第24回 10月3日	内部障害 【キーワード】腎臓疾患、糖尿病、リスク管理	中原	p.283-298	109
第25回 10月17日	熱傷 病態と障害像および作業療法 【キーワード】皮膚の構造、熱傷深度・リスク管理・作業療法	中原	p.168-182	109
第26回 10月24日	下肢整形外科疾患に対する作業療法 下肢整形外科疾患に対する作業療法を理解する。 【キーワード】大腿骨頸部骨折・腰痛・変形性膝関節症・自助具	中原		109
第27回 12月1日	障害者・高齢者の自動車運転 【キーワード】総論・高次脳機能障害・脊髄損傷	加納彰		109
第28回 12月1日	障害者・高齢者の自動車運転 【キーワード】総論・高次脳機能障害・脊髄損傷	加納彰		109
第29回 12月13日	腫瘍 病態と障害像	田尻寿子		109
第30回 12月13日	腫瘍 リハビリテーションの流れ	田尻寿子		109
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法学実習	4	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療学科2年	中原留美子・林正春他	身体障害作業療法学・作業療法評価学・作業療法評価学実習			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	身体障害領域の作業療法評価・治療の流れを具体的に学ぶ				
行動目標 (SBO)	1. 関節リウマチの作業療法について評価から治療までの流れを理解し、実施できる。 2. 吸引の目的・方法・リスク管理を理解し、実施できる。 3. 整形外科的疾患に対する評価及び治療を自分で選択し、手順を考え、実施できる。 4. 対象者を自分で設定し、自助具を作成し、使用方法などプレゼンテーションする。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>前期の身体障害作業療法学の授業で学習した内容を実施し、考え方や技術を獲得していきます。シラバスにしたがって進めていきますので、必ず前期の身体障害作業療法学の復習をし、具体的にどう行うかを考えてきてください。対象者によって評価や治療を選択し、手順を考えて、実践していくことを学びます。第14・15回に自助具コンテストを行います。対象者を設定して、自助具を作成し、実際の使い方などをプレゼンテーションします。第1回に説明いたしますので、各自準備を始めてください。</p>					
教科書・参考書					
教科書:作業治療学 1 身体障害 第3版 (協同医書出版) 参考書:標準作業療法学 作業療法評価学 第2版 (医学書院)					
受講時留意点、その他					
<p>実技が主になります。身だしなみ(服装、頭髪、爪)、手洗いをきちんとしてください。また、非常勤講師の授業が多くなりますので、聞き逃すことがないように、積極的に授業参加ください。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	90%	後期末定期試験を行います。60%以上を合格の目安とします。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション	10%	自助具作製およびプレゼンテーションを総合して評価			
その他					
(合計)	100%				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月31日	<u>関節可動域制限に対する作業療法</u> 心身機能・身体構造・活動・参加に対するアプローチ 【キーワード】評価と治療	中原		OT実2・ 装具加工室
第2回 9月7日	<u>筋力低下に対する作業療法</u> 心身機能/身体構造・活動・参加に対するアプローチ 【キーワード】評価と治療・リスク管理	中原		OT実2・ 装具加工室
第3回 9月28日	<u>手指巧緻性のOT治療</u> 方向への正確性・速さ・把持のタイミング・力の調整・両手動作の協調性の訓練方法を考え、実施する 【キーワード】作業・評価と治療	中原		OT実2・ 装具加工室
第4回 10月5日	<u>治療(物理療法)</u> 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー	菊池和也		治療室・機 能訓練室
第5回 10月12日	<u>手指巧緻性のOT治療</u> 方向への正確性・速さ・把持のタイミング・力の調整・両手動作の協調性の訓練方法を考え、行う 【キーワード】作業・評価と治療	中原		OT実2・ 装具加工室
第6回 10月18日	<u>吸引(演習)</u> 吸引を行う目的や方法について具体的に演習する 【キーワード】目的・リスク管理・手順・方法・道具の扱いや管理	伊藤恵 渡井ひとみ 川口泰子		OT実2・ 装具加工室
第7回 10月18日	<u>吸引(演習)</u> 吸引を行う目的や方法について具体的に演習する 【キーワード】目的・リスク管理・手順・方法・道具の扱いや管理	伊藤恵 渡井ひとみ 川口泰子		OT実習室2 装具加工室
第8回 10月26日	<u>関節リウマチの作業療法評価</u>	林正春		OT実習室2 装具加工室
第9回 10月26日	<u>関節リウマチの作業療法評価</u>	林正春		OT実2・ 装具加工室
第10回 11月7日	<u>関節リウマチの作業療法治療</u>	林正春		治療室
第11回 11月7日	<u>関節リウマチの作業療法治療</u>	林正春		治療室
第12回 11月30日	<u>関節リウマチの作業療法治療</u>	林正春		OT実2・ 装具加工室
第13回 11月30日	<u>関節リウマチの作業療法治療</u>	林正春		OT実2・ 装具加工室
第14回 12月14日	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	中原		OT実2・ 装具加工室
第15回 12月14日	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	中原		OT実2・ 装具加工室
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学	6	90	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	岡本 博行・松尾祐介	中枢神経障害作業療法学実習 解剖学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習、脳神経外科学、神経内科学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	脳血管障害及び脊髄損傷、神経難病・神経筋疾患に対する作業療法の評価と治療の方法を理解する。				
行動目標 (SBO)	<p>脳卒中患者に対する作業療法として、評価に基づく治療について学ぶ 脳卒中患者への治療的介入について学習する 脊髄損傷の機能障害が説明できる 脊髄損傷の評価項目が挙げられる 言語障害、嚥下障害の障害像また介入方法を学ぶ 神経難病・神経筋疾患の機能障害が説明できる 神経難病・神経筋疾患患者の評価項目が挙げられる 神経難病・神経筋疾患患者に対する作業療法として、評価に基づく治療について学ぶ 神経難病・神経筋疾患患者への治療的介入について学習する</p>				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>中枢神経障害の概要や疾患を学び、そこから必要とされる評価や治療展開について学ぶ。 前期の前半は脳血管障害について行い、後半は脊髄損傷について行う予定。 4時間分は外部講師(言語聴覚士)による、言語障害と嚥下障害についての評価と治療を学ぶ。外部講師の日程上スケジュールが変更されることがある。適宜連絡をする。 後期は神経難病・神経筋疾患を重点的に学ぶ。 グループワークを適宜行い、自らまとめ学ぶ姿勢を養う。</p>					
教科書・参考書					
<p>神奈川県リハビリテーション病院脊髄損傷マニュアル編集委員会／編 脊髄損傷マニュアル(医学書院) 菅原洋子／編 作業治療学1身体障害 第3版(協同医書出版) 医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第1版(メディックメディア) 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)</p>					
受講時留意点、その他					
積極的な授業参加を求める。予習、復習を行い授業受講の準備を各自行うことが望まれる。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を実施し、授業内容の確認を行う。			
小テスト		毎授業の冒頭に、前回の授業内容の復習とその日の授業の予習を含めた「復習・予習小テスト」を行う。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100	通年の総合成績は、前期試験と後期試験の結果を合算したものとす。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月7日	オリエンテーション・脳血管障害患者に対する作業療法概論	岡本	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第2回 4月9日	脳血管障害の発生機序と分類とその症状	岡本	作業治療学2 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第3回 4月14日	脳血管障害の障害像と臨床像	岡本	作業治療学3 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第4回 4月16日	脳血管障害の臨床所見	岡本	作業治療学4 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第5回 4月20日	脳血管障害の臨床所見	岡本	作業治療学5 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第6回 4月21日	脳血管障害の作業療法評価(心身機能・身体構造)	岡本	作業治療学6 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第7回 4月28日	脳血管障害の作業療法評価(心身機能・身体構造)	岡本	作業治療学7 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第8回 5月7日	脊髄の解剖と病態生理	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第9回 5月7日	脳血管障害の作業療法評価(ADL)	岡本	作業治療学8 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第10回 5月14日	脊髄損傷の症状	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第11回 5月14日	脊髄損傷の症状と治療	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第12回 5月19日	脳血管障害の作業療法評価(環境・活動・予後)	岡本	作業治療学9 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
第13回 5月20日	脊髄損傷の身体機能と評価	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第14回 5月26日	脊髄損傷の身体機能とADL(C4～C8)	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第15回 6月2日	脳血管障害の急性期作業療法	岡本	作業治療学10 身体障害 ／作業療法評価学 ／病気が見える	105・6
定期試験				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 6月3日	脊髄損傷の身体機能とADL(C4~C8)	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第17回 6月9日	脳血管障害の回復期作業療法	岡本	作業治療学11 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第18回 6月17日	脳血管障害の維持期作業療法	岡本	作業治療学12 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第19回 6月18日	脊髄損傷の身体機能とADL(C4~C8)	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第20回 6月23日	脳血管障害と各期作業療法	岡本	作業治療学13 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第21回 6月25日	脊髄損傷の身体機能とADL(C4~C8)	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第22回 7月3日	嚥下障害・言語障害の評価と治療	安孫子	作業治療学15 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第23回 7月3日	嚥下障害・言語障害の評価と治療	安孫子	作業治療学16 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第24回 7月7日	脳血管障害の作業療法(リスク管理)	岡本	作業治療学14 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第25回 7月7日	脊髄損傷に対する作業療法アプローチ	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
第26回 7月10日	嚥下障害・言語障害の評価と治療	安孫子	作業治療学17 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第27回 7月10日	嚥下障害・言語障害の評価と治療	安孫子	作業治療学18 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第28回 7月14日	頭部外傷患者に対する作業療法	岡本	作業治療学15 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第29回 7月14日	脳血管障害患者に対する作業療法士の関わり、総合的なアプローチ	岡本	作業治療学15 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第30回 7月15日	脊髄損傷者の環境に対するアプローチ	松尾	脊髄損傷マニュアル	105・6
定期試験	授業内容(脳血管障害、脊髄損傷、言語・嚥下障害)に沿った試験			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第31回 8月25日	<u>オリエンテーション・神経難病、神経筋疾患患者に対する作業療法概論</u> 神経難病の概要、神経難病の特徴等を確認する	松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第32回 8月30日	<u>パーキンソン病の病態</u> パーキンソン病の病態の理解を深める	岡本	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第33回 8月30日	<u>パーキンソン病の作業療法</u> パーキンソン病患者に対し必要な評価、プログラムを確認する	岡本	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第34回 9月13日	<u>その他の神経難病・神経筋疾患(重症筋無力症・ギランハレー症候群等)</u> その他神経難病の理解を深めるため自己またはグループで調べ報告する	岡本/松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第35回 9月20日	<u>脊髄小脳変性症の病態</u> 脊髄小脳変性症の病態の理解を深める	松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第36回 9月27日	<u>脊髄小脳変性症の作業療法</u> 脊髄小脳変性症患者に対し必要な評価、プログラムを確認する	松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第37回 10月4日	<u>多発性硬化症の病態</u> 多発性硬化症の病態の理解を深める	岡本	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第38回 11月1日	<u>多発性硬化症の作業療法</u> 多発性硬化症患者に対して必要な評価、プログラムを確認する	岡本	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第39回 10月18日	<u>筋萎縮性側索硬化症の病態</u> 筋萎縮性側索硬化症の病態の理解を深める	松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第40回 11月8日	<u>筋萎縮性側索硬化症の作業療法</u> 筋萎縮性側索硬化症患者に対して必要な評価、プログラムを確認する	松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第41回 11月15日	<u>その他の神経難病・神経筋疾患(重症筋無力症・ギランハレー症候群・シャルコーマリートゥース病・多発性筋炎皮膚炎・ハンチントン病・筋強直性ジストロフィー)</u> その他神経難病の理解を深めるため自己またはグループで調べ報告する	岡本/松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第42回 11月15日	<u>その他の神経難病・神経筋疾患(重症筋無力症・ギランハレー症候群・シャルコーマリートゥース病・多発性筋炎皮膚炎・ハンチントン病・筋強直性ジストロフィー)</u> その他神経難病の理解を深めるため自己またはグループで調べ報告する	岡本/松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第43回 11月15日	<u>その他の神経難病・神経筋疾患(重症筋無力症・ギランハレー症候群・シャルコーマリートゥース病・多発性筋炎皮膚炎・ハンチントン病・筋強直性ジストロフィー)</u> その他神経難病の理解を深めるため自己またはグループで調べ報告する	岡本/松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第44回 11月22日	<u>その他の神経難病・神経筋疾患(重症筋無力症・ギランハレー症候群・シャルコーマリートゥース病・多発性筋炎皮膚炎・ハンチントン病・筋強直性ジストロフィー)</u> その他神経難病の理解を深めるため自己またはグループで調べ報告する	岡本/松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
第45回 11月29日	<u>神経難病、神経筋疾患 作業療法演習</u> 神経難病、神経筋疾患や作業療法演習について学ぶ	岡本/松尾	作業治療学1 身体障害 /作業療法評価学 /病気が見える	105・6
後期定期試験	授業内容(神経難病・神経筋疾患)に沿った試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学実習	2	90	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療学科2年	岡本博行・松尾祐介・中村毎途	中枢神経障害作業療法学 解剖学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習、脳神経外科学、神経内科学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	中枢神経障害(CVA・脊髄損傷)の心身機能・身体構造に関する評価の目的および方法を学び、対象者の立場に立って評価が実施できる。				
行動目標 (SBO)	各疾患や時期に合わせた評価・治療を行うことができる 1. 評価の目的を説明できる。 2. 評価を実施するための準備や環境設定ができる。 3. 評価の手順に従って実施できる。 4. 評価中の対象者の状態に配慮できる。 5. 治療技術の実践が行える				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>中枢神経障害に対する、基礎的な知識、疾患概要について学ぶ。また、それらを持ち合わせたくうで、対象者に対し評価や治療が展開できるような技術の習得を目指す。</p> <p>中枢神経障害作業療法学の授業の内容に合わせて、進行していく。</p> <p>主に脳血管障害者や脊髄損傷者に対する身体機能評価、日常生活動作評価を中心に行っていく。</p>					
教科書・参考書					
<p>神奈川リハビリテーション病院脊髄損傷マニュアル編集委員会／編 脊髄損傷マニュアル(医学書院)</p> <p>菅原洋子／編 作業治療学1身体障害 第3版(協同医書出版)</p> <p>医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第1版(メディックメディア)</p> <p>岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)</p>					
受講時留意点、その他					
<p>積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。</p> <p>実技のできる服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は、受講を出来ない場合がある。</p> <p>授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなどし身だしなみを整える。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト					
レポート	20	評価結果等をまとめたレポートを提出する。後期に実施する			
実技試験	80	事例を挙げた模擬患者に対し、評価・治療プログラムを実施する			
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100	通年の総合成績は、前期実技試験と後期の実技試験レポートの結果を合算したものとする。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	<u>オリエンテーション CVA評価と脊髄損傷評価の目的</u> 授業の目的・概要の説明、評価に必要な知識の確認	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第2回 4月13日	<u>Brunnstrom test (上肢)</u> 評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第3回 4月20日	<u>Brunnstrom test (手指)</u> 評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第4回 4月27日	<u>Brunnstrom test (下肢)</u> 評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第5回 5月11日	<u>上田による12段階法 (上肢)</u> 評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第6回 5月18日	<u>上田による12段階法 (手指)</u> 評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第7回 5月25日	<u>上田による12段階法 (下肢)</u> 評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第8回 6月2日	<u>随意運動評価の確認</u> ブルンストロームテスト・上田による12段階法の評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第9回 6月8日	<u>脊髄損傷 身体機能評価</u> ASIAに基づいた感覚検査	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	OT実習室2
第10回 6月15日	<u>脊髄損傷評価 演習</u> ASIAに基づいた筋力評価	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学 脊髄損傷マニュアル	OT実習室2
第11回 6月22日	<u>脊髄損傷評価 演習</u> 感覚・筋力評価演習	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学 脊髄損傷マニュアル	OT実習室2
第12回 6月29日	<u>脊髄損傷評価 演習</u> 感覚・筋力評価演習・確認	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学 脊髄損傷マニュアル	OT実習室2
第13回 7月6日	<u>脊髄損傷 基本動作評価</u> 脊髄損傷者に対する起居動作の評価	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学 脊髄損傷マニュアル	OT実習室2
第14回 7月13日	<u>脊髄損傷 基本動作評価</u> 脊髄損傷者に対する移乗動作の評価	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学 脊髄損傷マニュアル	OT実習室2
第15回 7月20日	<u>脊髄損傷の治療技術・ADL動作の獲得</u> 脊髄損傷者に対する身体機能・ADLへのアプローチ	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体 障害 /作業療法評価学 脊髄損傷マニュアル	OT実習室2
定期試験	中枢神経障害に対する評価の実技試験	岡本/松尾/ 中村		OT実習室2

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月24日	<u>知覚検査（表在感覚）</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	治療室
第17回 8月24日	<u>知覚検査（深部感覚）</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	治療室
第18回 8月30日	<u>姿勢評価・バランス評価</u> CVA患者に対する姿勢、バランス評価の実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	治療室
第19回 8月30日	<u>姿勢評価・バランス評価</u> CVA患者に対する姿勢、バランス評価の実施、習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	治療室
第20回 9月6日	<u>姿勢・動作分析 起居動作/移乗動作</u> 健常者またはCVA患者の起居動作や移乗動作の分析の仕方を習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	治療室
第21回 9月6日	<u>姿勢・動作分析 起居動作/移乗動作</u> 健常者またはCVA患者の起居動作や移乗動作の分析の仕方を習得	岡本/松尾/ 中村	作業療法評価学	治療室
第22回 9月13日	<u>筋緊張検査</u> CVAに対する筋緊張評価の実施、演習	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第23回 9月13日	<u>腱反射、病的反射</u> CVAに対する腱反射、病的反射評価の実施、演習	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第24回 9月20日	<u>脳神経検査</u> CVAに対する脳神経検査評価の実施、演習	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第25回 9月20日	<u>事例検討(CVA) 評価列挙・評価選択</u> 列挙した評価項目からCVA患者の状況に合わせた選択をする	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第26回 9月27日	<u>事例検討(CVA) 評価実施確認</u> 模擬患者に対して評価をする計画・実施を行う	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第27回 9月27日	<u>事例検討(CVA) 評価実施確認</u> 模擬患者に対して評価をする計画・実施を行う	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第28回 10月4日	<u>事例検討(CVA) 評価結果のまとめ、目標設定、問題点等の整理</u> 実施した評価結果をまとめ、解釈を行う 評価結果から目標の設定、問題点等の整理を行う	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第29回 10月4日	<u>事例検討(CVA) 治療プログラムの立案と実施</u> 評価結果をまとめ、治療プログラムの立案を行う	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室
第30回 10月11日	<u>起居動作、基本動作の評価と介入</u> CVA患者を想定した起居動作、基本動作の評価と介入	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 ／作業療法評 価学	治療室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第31回 10月11日	<u>CVAのADL評価と介入</u> CVA患者を想定したADL各動作の評価と介入	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第32回 10月19日	<u>事例検討(CVA) 事例報告とディスカッション</u> 事例報告を聴講し、ディスカッションを行う	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第33回 10月19日	<u>事例検討(CVA) 事例報告とディスカッション</u> 事例報告を聴講し、ディスカッションを行う	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第34回 10月25日	<u>事例検討(CVA) 模擬CVA患者のADL介入</u> 模擬患者を通してADL介入を学ぶ	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第35回 10月25日	<u>事例検討(CVA) 模擬CVA患者のADL介入</u> 模擬患者を通してADL介入を学ぶ	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第36回 11月1日	<u>事例検討(CVA) 作業療法プログラムの列挙</u> CVA患者に対する作業療法プログラム挙げ検討する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第37回 11月1日	<u>事例検討(CVA) 作業療法プログラムの列挙</u> CVA患者に対する作業療法プログラム挙げ検討する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第38回 11月1日	<u>事例検討(CVA) 作業療法プログラムの実施(麻痺側への介入)</u> CVA患者に対する麻痺側へ介入する作業療法プログラムを実施する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第39回 11月8日	<u>事例検討(CVA) 作業療法プログラムの実施(非麻痺側への介入)</u> CVA患者に対する非麻痺側へ介入する作業療法プログラムを実施する 作業活動を取り入れた作業療法アプローチ	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第40回 11月8日	<u>事例検討(CVA) 作業療法プログラムの実施(ADLへ介入)</u> CVA患者に対するADLへ介入する作業療法プログラムを実施する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第41回 11月8日	<u>事例検討(CVA) 作業療法プログラムの実施(自助具を用いる)</u> CVA患者に対する自助具を用いた介入の作業療法プログラムを実施する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第42回 11月15日	<u>事例検討(CVA) 模擬CVA患者への作業療法アプローチの実施</u> CVA患者の状態に合わせた作業療法アプローチを実施・演習する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第43回 11月22日	<u>事例検討(CVA) 模擬CVA患者への作業療法アプローチの実施</u> CVA患者の状態に合わせた作業療法アプローチを実施・演習する	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第44回 11月29日	<u>事例検討(CVA) 模擬CVA患者の作業療法プログラムまとめ</u> プログラムの段階付けや発展を理解し変化をつけていく	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
第45回 11月29日	<u>事例検討(CVA) 模擬CVA患者の作業療法プログラムまとめ</u> プログラムの段階付けや発展を理解し変化をつけていく	岡本/松尾/ 中村	作業治療学1 身体障害 /作業療法評 価学	治療室
定期試験	授業内容(脳血管障害、脊髄損傷)の実技試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活技術学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	中村毎途・松尾祐介	作業療法評価学・日常生活技術学実習 ほか			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業療法で行う日常生活活動の評価とアプローチ方法がわかる				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1.作業療法で用いる日常生活活動評価の方法が挙げられる 2.FIMを用いた日常生活活動評価の原則がわかり、一般的な事例の採点ができる 3.各日常生活活動を遂行するための心身機能・影響因子について挙げることができる。 4.日常生活活動の障害に対する作業療法アプローチの方法が挙げられる 5.手段的ADL(IADL)の障害に対する評価と介入方法が挙げられる 6.職業関連活動の障害に対するアプローチに必要な基礎項目がわかる 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この科目では、日常生活活動を、対象者にとって重要な作業の一つと位置づけ、その作業療法評価とアプローチの方法を学びます。リハビリテーションにおいて、日常生活活動の自立・質の向上は、大きな目標の一つとなる場合があり、作業療法士は其中でも中心的な役割を担います。どのような領域でどのような対象者を治療する場合にも必要な知識・技術となりますので、関心を持って受講してください。また、狭義のADLだけではなく、家事・外出などのいわゆる手段的ADLや職業関連活動における評価と治療の基礎事項にも触れます。</p> <p>FIMは国際的にスタンダードな評価表でもあり、基礎的な採点ができるように理解してください。</p>					
教科書・参考書					
教科書:作業療法学全書 改訂第2版 日常生活活動(協同医書)、標準作業療法学 作業療法評価学 第2版(医学書院)、脳卒中の機能と評価 SIASとFIM(金原出版) 参考図書:基礎運動学(医歯薬出版)					
受講時留意点、その他					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100%	前期末試験を実施する。60点以上がこの科目の単位取得の目安である。講義内容のすべてを試験範囲に含む。特に評価方法のうち「FIM」は、原則に従って採点できることを含む。			
小テスト		第9回(6月17日)に、FIMを中心としたADL評価について実施の予定。各自が自己の理解度を確認する目的で実施する。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	1				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月7日	<u>オリエンテーション・ADL総論</u> 何をもってADLの自立というのか、ADLと作業療法の関係。 キーワード:ADL, 自立	中村毎途	日常生活活動pp3-15, 45-52	109
第2回 4月14日	<u>ADL評価総論</u> 作業療法士がADLを評価するために。 キーワード:ADL評価の種類, ADL評価の様式, ADL評価の目的	中村毎途	日常生活活動pp52-72	OT実習室2・ 装具加工室
第3回 4月22日	<u>FIM総論・FIM運動項目①</u> 原則を踏まえてFIMを正しく採点する。 キーワード:運動項目, 食事, 整容, 清拭	中村毎途	脳卒中の機能と評価 pp83-97	OT実習室2・ 装具加工室
第4回 5月12日	<u>FIM運動項目②</u> 原則を踏まえてFIMを正しく採点する。 キーワード:更衣, トイレ動作, 排尿管理, 移乗	中村毎途	脳卒中の機能と評価 pp98-114	105・106
第5回 5月20日	<u>FIM運動項目③ 認知項目①</u> 原則を踏まえてFIMを正しく採点する。 キーワード:移動, 認知項目, コミュニケーション	中村毎途	脳卒中の機能と評価pp 115-126	105・106
第6回 5月27日	<u>FIM認知項目②</u> 原則を踏まえてFIMを正しく採点する。 キーワード:社会的認知	中村毎途	脳卒中の機能と評価 pp127-138	105・106
第7回 6月3日	<u>ADL各項目の特性①</u> ADL遂行のための心身機能・影響因子について考える。 キーワード:更衣・食事	中村毎途	日常生活活動 pp20-28	OT実習室2・ 装具加工室
第8回 6月10日	<u>ADL各項目の特性②</u> ADL遂行のための心身機能・影響因子について考える。 キーワード:整容・排泄・入浴	中村毎途	日常生活活動 pp20-28	OT実習室2・ 装具加工室
第9回 6月17日	FIM小テスト・『作業』の視点からのADL:面接評価 対象者にとって意味のある作業を聴取してみる。 キーワード:COPM, 生活行為向上マネジメント	中村毎途	日常生活活動 pp77, 87 配布資料	105・106
第10回 6月23日	<u>ADL援助技術の選択方法</u> 評価結果を整理して、アプローチ方法を選択する。 キーワード:評価結果の整理, 優先順位	中村毎途	日常生活活動 pp73-90	OT実習室2・ 装具加工室
第11回 6月24日	<u>ADLに対する援助技術</u> 動作が効率よく行えるための作業療法介入。 キーワード:アプローチ方法, 環境, 学習	中村毎途	日常生活活動 pp73-90	OT実習室2・ 装具加工室
第12回 6月30日	<u>作業遂行の質の定量的評価</u> AMPS講義, 模擬演習 キーワード:AMPS, 観察	松尾	日常生活活動pp62-64	105・106
第13回 7月1日	<u>IADLの評価</u> その人にとって必要なIADLは何か。 キーワード:IADL, 役割, 個人差	中村毎途	日常生活活動 pp32-38	OT実習室2・ 装具加工室
第14回 7月8日	<u>IADL障害に対する作業療法介入</u> 地域で暮らすために、作業療法士が支援すること。 キーワード:IADL, 家事動作, 外出	中村毎途	日常生活活動 pp32-38	OT実習室2・ 装具加工室
第15回 7月15日	<u>職業リハビリテーション・まとめ</u> 就労支援における作業療法士の役割について。 キーワード:就労支援, 障害者総合支援法, 支援制度	中村毎途	配布資料 日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
定期試験	前期定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活技術学実習	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	中村毎途・中原留美子 松尾祐介・植田伊津子	日常生活技術学・中枢神経障害作業療法学、同実習・身体障害作業療法学、同実習 など			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	日常生活活動に対する作業療法評価・治療の基本的技術を習得する				
行動目標 (SBO)	1.健常者が行うADL動作の動作分析ができる 2.健常者が行うADL動作の作業分析ができる 3.模擬患者に対して基本動作の介助が行える 4.対象者に合わせたADL動作指導が行える 5.対象者に合わせたIADL動作指導が行える				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この科目では作業療法を行う基礎となる分析方法について、ADLを始め様々な活動を通して学びます。作業療法では、運動・動作レベルから、行為・作業レベルの視点での分析まで必要とされます。健常者が行う動作を分析することで、評価・指導の視点の基礎を学びます。分析の視点を養うことと技術を習得することが中心となりますので、授業中・課外を通して、積極的に何度も練習してください。わからないところがあれば質問に来てください。</p>					
教科書・参考書					
教科書:作業療法学全書 改訂第3版 日常生活活動(協同医書)、基礎運動学(医歯薬出版)、作業療法学全書 改訂第3版 身体障害(協同医書)、脳卒中の機能と評価 SIASとFIM(金原出版)					
受講時留意点、その他					
<p>実技授業では、作業療法の対象者に接する場合と同じように被験者と接してください。 身だしなみ・手洗い・消毒・器具の取り扱い等、感染予防に努めてください。 被験者への不敬な態度、感染対策の怠慢、身だしなみの不良等が著しく、改善が見られない場合は、実技への参加を認めない場合があります。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0%				
小テスト					
レポート	60%	授業内に行った課題及び授業の実習内容のまとめとして、課題提出を行う。全12回(第1～5回, 8～12回, 14・15回)また、下衣の更衣動作とIADLについてのレポート課題を実施。記載方法はその都度指示する。期限を過ぎて提出された課題は採点しない。			
実技試験					
プレゼンテーション		第7回では、FIMの原則に従った実演をグループで発表する。			
その他	40%	下衣更衣動作の評価・指導に関する実技を行い、習熟度を確認する(7月8日予定) 実施状況を成績評価に含める。			
(合計)	1				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月7日	オリエンテーション・運動学的分析の基礎実習 姿勢を観察しスティックピクチャーを描く キーワード:静止姿勢, 肢位, 重心	中村毎途	基礎運動学	OT実習室2・ 装具加工室
第2回 4月14日	複合的な動作の観察・運動学的分析 コップに入った水を飲む動作の分析 キーワード:3次元での運動観察, 肢位の変化,	中村毎途	基礎運動学	OT実習室2・ 装具加工室
第3回 4月22日	ADL動作の分析実習① 健常者が行う更衣動作の分析 キーワード:前開きシャツ, 動作の区分	中村毎途 松尾	基礎運動学・ 日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第4回 5月12日	ADL動作の分析実習② 健常者が行う移乗動作の分析 キーワード:車いす, 移乗, 重心	中村毎途 松尾	基礎運動学・ 日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第5回 5月20日	基本動作実習① 対象者の能力を發揮するための声掛け, 誘導. キーワード:寝返り・起き上がり・立ち上がり	中村毎途 中原 松尾	基礎運動学・ 日常生活活動	治療室
第6回 5月27日	FIMプレゼンテーション準備 FIM各項目の実演プレゼンテーション準備(グループ学習)	中村毎途	脳卒中の機能と評価	OT実習室2・ ADL室・105・ 106
第7回 6月3日	FIMプレゼンテーション発表	中村毎途	脳卒中の機能と評価	OT実習室2・ ADL室・105・ 106
第8回 6月10日	基本動作実習② ベッドから車いすへ移乗するための誘導方法 キーワード:移乗, 車いす	中村毎途 中原 松尾	基礎運動学	OT実習室2・ 装具加工室
第9回 6月17日	基本動作実習③ 環境の異なる場面における移乗動作について キーワード:車いす, ベッド, 浴槽	中村毎途 中原 松尾	日常生活活動	OT実習室2・ ADL室
第10回 6月23日	食事動作の評価・動作指導 姿勢と環境に着目した食事動作評価の実践 キーワード:食事, 姿勢, 環境	中村毎途 松尾	日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第11回 6月24日	下衣更衣動作の評価・動作指導 健常者はズボンをどのように履いているのだろう. キーワード:下衣, 観察, 代償動作	中村毎途 中原 松尾	日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第12回 7月1日	整容動作の評価・動作指導 身だしなみを整えるために必要なこととは. キーワード:整容動作, 非利き手	中村毎途 松尾	日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第13回 7月8日	実技確認:下衣の更衣動作に対する評価と指導	中村毎途 中原 松尾 植田伊津子	日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第14回 7月15日	IADLに対する作業療法介入実習① 調理 フルーツデザートを作るために必要な機能・能力とは. キーワード:道具の使用, 作業遂行, リスク管理	中村毎途 中原 松尾	日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
第15回 7月22日	IADLに対する作業療法介入実習② 掃除 効率よく掃除をするために必要な条件とは. キーワード:環境, 掃除, 手順	中村毎途 松尾	日常生活活動	OT実習室2・ 装具加工室
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学	6	90	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
2年作業療法学科	大庭 俊裕	精神障害作業療法評価学 精神医学 臨床心理学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	精神科作業療法の概要を理解する 作業療法士に必要な面接力と考察力を養う 精神疾患・障害特性に応じた作業療法を理解する。				
行動目標 (SBO)	<p>前期目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神医療と作業療法について、歴史と現状、それを取り巻く環境を理解する。 2. 精神障害の特性を理解し、精神科作業療法の目的と役割を明確にする。 3. 精神科作業療法の構造と形態を理解する。 4. 面接に必要なコミュニケーション技術と考察を学ぶ。 <p>後期目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統合失調症、気分障害の概要と障害特性、作業療法を理解する。 2. 1. 以外の各精神疾患の概要と障害特性、作業療法を理解する。 3. 臨床場面における作業療法の現状を学び、精神科作業療法のイメージを明確にする。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
精神障害に対する作業療法の概要、目的、役割について、治療構造について理解する。 毎回の授業で、テーマを決めて出席を取る際のコミュニケーション技術を学んでください。					
教科書・参考書					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害と作業療法 第3版 三輪書店 2. 生活を支援する精神障害作業療法 第2版 医歯薬出版株式会社 3. 精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版 中央法規 					
受講時留意点、その他					
積極的に受講してください。 質問大歓迎。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	60%	評定上は前期30%、後期30%の割合ですが、試験不合格の場合は単位の修得はできません。 ※前後期とも試験は100点満点とし、基準点以下は再試験とします。			
小テスト					
レポート	5%	後期にグループ課題として実施。			
実技試験					
プレゼンテーション	5%	後期にグループ課題として実施。			
その他	30%	ポートフォリオ:後期のグループワークにて作成。			
(合計)	100%				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	オリエンテーション ひとと病い 「リカバリー・精神障害の特性・ストレングス」	大庭	1. 1-26	105
第2回 4月4日	精神医学と精神障害、精神科作業療法の歴史 「法(精神病患者監護法、精神衛生法、精神保健法、精神保健福祉法) ・処遇(私宅監置・社会的入院)・作業療法の変遷」	大庭	1. 27-48	105
第3回 4月5日	精神障害に対する作業療法の視点 「手段・目的(自律と適応)・介入(回復過程と状態)・効果・条件」	大庭	1. 49-70	105
第4回 4月12日	作業療法の治療・援助構造と治療機序 「治療・援助構造、主体としての対象者の要素」	大庭	1. 71-73	105
第5回 4月18日	作業療法の治療・援助構造と治療機序 「主体としての対象者の要素」	大庭	1. 74-77	105
第6回 4月19日	作業療法の治療・援助構造と治療機序 「作業・作業活動の基本要素・使い方」	大庭	1. 78-96	105
第7回 4月25日	作業療法の治療・援助構造と治療機序 「作業療法士: 自己の治療的利用」	大庭	1. 97-100	105
第8回 4月26日	作業療法の治療・援助構造と治療機序 「集団・場: 療法集団の治療因子、集団の構造因子、発達集団」	大庭	1.101-18	105
第9回 5月2日	作業療法の治療・援助構造と治療機序 「時間・対象関係・形態・連携」	大庭	1.109-126	105
第10回 5月9日	作業療法の実践 「作業療法がおこなわれる場・急性期」	大庭	1.181-193	105
第11回 5月13日	作業療法の実践 「地域移行支援・緩和期」	大庭	1.194-215	105
第12回 5月16日	作業療法の実践 「就労支援・児童期・老年期・司法」	大庭	1.216-228	105
第13回 5月17日	精神科作業療法の理論 「集団力動論・認知行動理論」	大庭	1.275-	105
第14回 5月23日	精神科作業療法の理論 「ストレス・脆弱性・対処・力量モデル」	大庭	1.275-	105
第15回 5月24日	前期のまとめ	大庭		105
定期試験 5月31日	第1～15回の授業内容を試験範囲とする。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 9月2日	オリエンテーション	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第17回 9月2日	統合失調症① 概要	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第18回 9月9日	各疾患 グループワーク① 概要	大庭	ポート フォリオ	105・6
第19回 9月9日	統合失調症② 陽性症状と陰性症状、認知機能障害・社会認知	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第20回 9月16日	各疾患 グループワーク② 症状について	大庭	ポート フォリオ	105・6
第21回 9月16日	統合失調症③ 障害像とICF、薬物療法、OT以外の治療法	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第22回 9月23日	各疾患 グループワーク③ 障害について、OT以外の治療について	大庭	ポート フォリオ	105・6
第23回 9月23日	統合失調症④ 作業療法:急性期・回復期	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第24回 10月7日	各疾患 グループワーク④ 作業療法1	大庭	ポート フォリオ	105・6
第25回 10月7日	統合失調症⑤ 維持期、まとめ	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第26回 10月14日	各疾患 グループワーク⑤ 作業療法2	大庭	ポート フォリオ	105・6
第27回 10月14日	気分障害1:疾患の理解	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第28回 10月21日	各疾患 グループワーク⑥ まとめ	大庭	ポート フォリオ	105・6
第29回 10月21日	気分障害2:治療、作業療法	大庭	1. 230～ 配布資料	105・6
第30回 10月28日	事例検討(3年生と合同授業)	大庭	ポート フォリオ	OT実2・ 義装室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第31回 10月28日	事例検討(3年生と合同授業)	大庭	1. 230～ 配布資料	OT実2・ 義装室
第32回 11月4日	各疾患 グループワーク⑦ まとめ	大庭	ポート フォリオ	105・6
第33回 11月4日	各疾患 発表準備①	大庭	ポート フォリオ	PC室
第34回 11月18日	各疾患 発表準備②	大庭	配布資料	PC室
第35回 11月18日	気分障害3:作業療法、ほか	大庭	配布資料	105・6
第36回 11月21日	各疾患 発表: 依存症、自閉症スペクトラム、パーソナリティ障害、摂食障害、 神経症性障害、強迫性障害、解離性障害、身体表現性障害	大庭	配布資料	105・6
第37回 11月21日	各疾患 発表: 依存症、自閉症スペクトラム、パーソナリティ障害、摂食障害、 神経症性障害、強迫性障害、解離性障害、身体表現性障害	大庭	配布資料	105・6
第38回 12月2日	各疾患 発表: 依存症、自閉症スペクトラム、パーソナリティ障害、摂食障害、 神経症性障害、強迫性障害、解離性障害、身体表現性障害	大庭	配布資料	105・6
第39回 12月2日	各疾患 発表: 依存症、自閉症スペクトラム、パーソナリティ障害、摂食障害、 神経症性障害、強迫性障害、解離性障害、身体表現性障害	大庭	配布資料	105・6
第40回 12月5日	臨床における精神科作業療法の実際	岡庭		105・6
第41回 12月5日	臨床における精神科作業療法の実際	岡庭	配布資料	105・6
第42回 12月9日	急性期精神科作業療法・医療観察法と作業療法	岡庭	配布資料	105・6
第43回 12月9日	急性期精神科作業療法・医療観察法と作業療法	岡庭	配布資料	105・6
第44回 12月12日	各疾患 発表: 依存症、自閉症スペクトラム、パーソナリティ障害、摂食障害、 神経症性障害、強迫性障害、解離性障害、身体表現性障害	大庭	配布資料	105・6
第45回 12月12日	精神障害作業療法学 まとめ	大庭	配布資料	105・6
定期試験	第16～45回の授業内容を試験範囲とする。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学	4	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療学科2年	植田伊津子 渡邊智史	発達障害作業療法評価学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	発達障害領域における作業療法の評価及び治療について理解する。				
行動目標 (SBO)	発達障害領域における作業療法評価から治療の流れを理解できる。発達障害領域の対象疾患を挙げ、その特徴と評価・治療アプローチを説明することができる。発達遊戯の分析ができる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この授業では、発達障害領域の評価、治療アプローチ、対象疾患について学びます。また、子どもにとって重要な作業活動である遊戯について、観察の視点、治療への応用について学びます。発達障害を有する子供たちの多くは、地域で家族とともに生活しています。保護者支援のための対応、育児支援、支援制度についても触れていきます。発達障害作業療法評価学で学んだ正常発達の知識が基礎となります。前期で学んだ内容を振り返りながら、学習を進めてください。					
教科書・参考書					
神作一実編 作業療法学ゴールドマスターテキスト7 改訂第2版 発達障害作業療法学 メジカルビュー社 岩崎テル子他編 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院					
受講時留意点、その他					
動きやすい服装・持ち物等を指示することがあるので、掲示板・デスクネッツを注意して確認してください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を実施する。60点以上がこの科目の単位取得の目安である。講義内容のすべてを試験範囲に含む。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月24日	オリエンテーション、発達領域の作業療法対象 キーワード:対象疾患、発達遅滞	植田	配布資料	109
第2回 8月25日	遊びの分析 キーワード:観察の視点 遊びの発達	植田	配布資料	109
第3回 8月25日	新生児疾患(NICU対象児) キーワード:新生児の疾患、障害、臨床像、作業療法評価	植田	配布資料	109
第4回 9月1日	姿勢と運動へのアプローチ:脳性麻痺を中心に① キーワード:定義 分類 臨床像 作業療法評価	植田	pp97-102	109
第5回 9月2日	姿勢と運動へのアプローチ:脳性麻痺を中心に② キーワード:重度痙直型四肢まひ 生命 呼吸 摂食・嚥下 姿勢 感覚	植田	pp103-106	109
第6回 9月2日	姿勢と運動へのアプローチ:脳性麻痺を中心に③ キーワード: 姿勢 運動 治療 遊び	植田	配布資料	109
第7回 9月9日	重症心身障害児 キーワード:生命 呼吸 摂食・嚥下 姿勢 感覚	植田	pp119-123	109
第8回 9月9日	重症心身障害児 キーワード:生命 呼吸 摂食・嚥下 姿勢 感覚	植田	pp119-123	109
第9回 9月14日	知的発達障害 ワード:ライフステージ 遊び 行動 活動 ADL	キー 植田	pp143-166	109
第10回 9月16日	知的発達障害 ワード:ライフステージ 遊び 行動 活動 ADL	キー 植田	pp143-166	109
第11回 9月23日	摂食・嚥下障害に対する作業療法 キーワード:発達 摂食・嚥下機能 姿勢コントロール 食具	植田	pp167-180	109
第12回 9月23日	摂食・嚥下障害に対する作業療法 キーワード:発達 摂食・嚥下機能 姿勢コントロール 食具	植田	pp167-180	109
第13回 9月26日	デュシェンヌ型筋ジストロフィー キーワード:臨床症状 治療 機能障害	植田	pp181-192 配布資料	109
第14回 10月7日	感覚統合理論	渡邊智史 (富士市立 子ども療育 センター)	配布資料	109
第15回 10月7日	感覚統合理論	渡邊智史 (富士市立 子ども療育 センター)	配布資料	109

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 10月14日	デュシェンヌ型筋ジストロフィー キーワード: 情報収集 作業療法評価 環境調整 姿勢 上肢操作	植田	pp192-203 配布資料	109
第17回 10月14日	デュシェンヌ型筋ジストロフィー キーワード:ADL 自助具 活動支援 社会参加	植田	pp204-216	109
第18回 10月21日	自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障害、学習障害 キーワード:臨床像 医学的治療 心理・教育的支援 作業療法評価	植田	配布資料	109
第19回 10月21日	自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障害、学習障害 キーワード:臨床像 医学的治療 心理・教育的支援 作業療法評価	植田	配布資料	109
第20回 10月28日	事例検討	植田	配布資料	109
第21回 11月7日	発達領域の作業療法の実際①	渡邊智史 (富士市立 子ども療育 センター)	配布資料	109
第22回 11月7日	発達領域の作業療法の実際②	渡邊智史 (富士市立 子ども療育 センター)	配布資料	109
第23回 11月18日	発達領域の作業療法の実際③	渡邊智史 (富士市立 子ども療育 センター)	配布資料	109
第24回 11月18日	発達領域の作業療法の実際④	渡邊智史 (富士市立 子ども療育 センター)	配布資料	109
第25回 11月25日	二分脊椎症 キーワード:評価、治療、排泄動作	植田	pp217-230	109
第26回 11月25日	骨関節疾患	植田	配布資料	109
第27回 12月2日	遊びの活用	植田	配布資料	109
第28回 12月2日	事例検討	植田	配布資料	109
第29回 12月8日	対人援助職として作業療法士に求められるもの キーワード:母親と子どもの作業、日常生活活動、育児支援	植田	配布資料	109
第30回 12月8日	まとめ	植田	配布資料	109
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	リハビリテーション関連機器	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	松尾祐介・林正春・梶原幸信	運動学・福祉環境論・日常生活技術学・日常生活技術学実習 等			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業療法治療の手段である福祉機器・住宅改修について理解する。				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 福祉用具の概要を理解し、作業療法士の役割が説明できる。 福祉用具の選定時の評価と、導入までの流れを説明できる。 福祉用具の種類と使い方を理解する。 自助具を作製し、使用体験をすることでその改善点を見いだせる。 				5. 住宅改修のポイントと作業療法士の役割が理解できる
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
福祉用具は、暮らしのなかで不便なく暮らせるよう創意工夫し、形作られたものです。その目的は、使い方やライフスタイルに応じた対応などを含め、「よりよい生活」を支援することにあります。リハビリテーション関連機器では、福祉用具の選定・適合に必要な知識・技術の習得を目指します。各ADL・IADLに焦点をあて、作業療法の対象者にどのように適合していくのかを考えます。普段の生活から、意識してものを観察し、扱ってみましょう。またADLやIADL場面においてどのように動作を行っているのか意識するよう努めてください。					
教科書・参考書					
教科書:福祉用具の使い方・住環境整備(協同医書出版)					
受講時留意点、その他					
中伊豆温泉病院の林先生、講義をしていただく機会があります。福祉用具・住宅改修に精通されている先生です。貴重な時間です。集中して受講するようにしてください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行います。60%以上を合格の目安とします。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		実技のできる服装で受講すること。 第6、7回は中伊豆温泉病院の林先生に、13～15回は伊東市民病院の梶原先生に講義して頂きます。その分野に精通されている先生です。集中して受講するようにして下さい。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月7日	作業療法場面における福祉用具を考える キーワード:福祉用具、評価	松尾	P5～15	OT実習室2 装具加工室
第2回 4月14日	起居動作・移動に関わる福祉用具とその活用方法を知る キーワード:ポジショニング、移乗、シーティング	松尾	P15～32	OT実習室2 装具加工室
第3回 4月21日	更衣・整容に関わる福祉用具とその活用方法を知る キーワード:更衣動作、整容動作、自助具、リーチ、巧緻動作	松尾	P68～73 P78～83	OT実習室1 ADL室
第4回 4月28日	食事・調理に関わる福祉用具とその活用方法を知る キーワード:食事動作、調理動作、自助具	松尾	P74～78	OT実習室1 ADL室
第5回 5月12日	排泄・トイレ動作・入浴に関わる福祉用具とその活用方法を知る キーワード:排泄管理、トイレ動作、洗体、浴槽移乗	松尾	P83～94	OT実習室1 ADL室
第6回 5月19日	自助具作製のプロセスを理解する① キーワード:評価、作製プロセス、自助具作製	林正春	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第7回 5月19日	自助具作製のプロセスを理解する② キーワード:評価、作製プロセス、自助具作製	林正春	配布資料	OT実習室2
第8回 5月19日	コミュニケーション・余暇活動に関わる福祉用具とその活用方法を知る キーワード:進行性疾患、コミュニケーションエイド、意思伝達装置	松尾	P33～68	OT実習室2
第9回 6月9日	福祉用具導入の流れを理解する キーワード:分類、福祉用具供給システム、他職種連携、リスクマネジメント	松尾	P10～P15 P26～P31	OT実習室2
第10回 6月16日	一般的な自助具を作製する① ループタオル	松尾		OT実習室2 装具加工室
第11回 6月23日	一般的な自助具を作製する② ユニバーサルカフ	松尾		OT実習室2 装具加工室
第12回 7月7日	住宅改修のポイントと作業療法士の役割について理解する① キーワード:住宅改修、建築の基礎知識、建築図面	梶原幸信	P155～185	OT実習室2 装具加工室
第13回 7月7日	住宅改修のポイントと作業療法士の役割について理解する② キーワード:住宅改修、建築の基礎知識、建築図面、検討事項	梶原幸信	P155～185	OT実習室2 装具加工室
第14回 7月14日	住宅改修の実際について知る① キーワード:退院前訪問指導、住環境整備までの流れ、評価の視点	梶原幸信	P155～185	OT実習室2 装具加工室
第15回 7月14日	住宅改修の実際について知る② キーワード:アプローチ、玄関、トイレ、浴室、居室、寝室、食堂	梶原幸信	P155～185	OT実習室2 装具加工室
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	義肢装具学	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	岡本博行・市村真樹・菊池和子	解剖学・運動学・身体障害作業療法学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	義肢装具使用者に対する作業療法士の役割を修得する				
行動目標 (SBO)	1. 義手の構造、チェックアウト及び切断者の作業療法の方法がわかる 2. 装具・スプリントの構造、適応がわかる 3. スプリントを製作、チェックアウトができる				3. スプリ
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>身体構造・手の機能の復習をしっかりしてから授業に臨みましょう。 実際にスプリントが作製できるようになることが求められます。初めて触れる素材を使用しますので、大変扱いにくいと思います。真剣に取り組んでください。</p>					
教科書・参考書					
作業療法学全書[改訂第3版] 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学(協同医書出版)					
受講時留意点、その他					
<p>身体計測、触察、スプリント製作演習では動きやすい服装にすること。内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板デスクネッツなどでお知らせします。注意深く見ておくようにしてください。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	90	前期末試験を実施する。60%以上の点数を合格の目安とする。			
小テスト					
レポート	10	スプリント装着体験レポート(製作したスプリントを含む)			
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	<u>オリエンテーション・義肢装具の歴史と概要</u> この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 【キーワード】 <u>上肢機能・伸展機構</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第2回 4月12日	<u>義肢装具の作業療法の役割</u> 義肢装具を取り扱う上で必要な知識を得る。 【キーワード】 <u>義肢・装具・義肢装具士</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第3回 4月19日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【キーワード】 <u>義肢・装具・スプリント・義手</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第4回 4月26日	<u>義手のチェックアウト・計測</u> 四肢の計測ができる。 【キーワード】 <u>断端形成・ADL訓練・義手装着訓練</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第5回 5月17日	<u>義手のチェックアウト・義手装着訓練</u> 義手のチェックアウト方法を理解する。義手の操作訓練を理解する。 【キーワード】 <u>操作効率・張力安定性・基本操作訓練・応用操作訓練</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第6回 5月24日	<u>上肢装具・スプリントの分類と適応、作業療法士の役割</u> 装具療法における作業療法士の役割について説明できる。スプリントの分類・適応が説明できる。	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第7回 5月26日	<u>各装具の理解</u> 上肢・下肢・体幹のそれぞれの装具が理解できる 【キーワード】 <u>ランドマーク・3点固定の原理・全面接触の原理</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第8回 5月31日	<u>装具の適応と目的</u> 各種スプリントの適応や目的を理解する 【キーワード】 <u>スプリント・適応・目的</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第9回 6月7日	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患(末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA)のスプリントの適応がわかる。 【キーワード】 <u>把持装具・手関節安静保持装具・対立装具</u>	岡本	義肢装具学	OT実習室2
第10回 6月14日	<u>歩行のバイオメカニクス</u> 歩行周期における各機能を理解する。 【キーワード】 <u>歩行周期・重心・モーメント</u>	市村真樹	配布資料	OT実習室2
第11回 6月21日	<u>脳卒中片麻痺の歩行</u> 脳卒中片麻痺の歩行の特徴を理解する。 【キーワード】 <u>片麻痺・内反尖足・反張膝</u>	市村真樹	配布資料	OT実習室2
第12回 6月28日	<u>スプリントの製作演習(セーフティピン)</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【キーワード】 <u>セーフティピン・アクアプラスト・適応</u>	岡本	配布資料	OT実習室2
第13回 7月5日	<u>スプリントの製作演習(短対立装具)</u> スプリントの作製、チェックアウトを行う。 【キーワード】 <u>短対立装具・アクアプラスト・適応</u>	岡本	配布資料	OT実習室2
第14回 7月12日	<u>スプリントの製作演習(カックアップ)</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【キーワード】 <u>カックアップ・アクアプラスト・チェックアウト</u>	菊池・岡本	配布資料	OT実習室2
第15回 7月19日	<u>スプリントの製作演習(カックアップ)</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【キーワード】 <u>カックアップ・アクアプラスト・チェックアウト</u>	菊池・岡本	配布資料	OT実習室2
定期試験	授業内容に沿った試験を実施			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	地域作業療法学	4	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	植田伊津子 大庭俊裕 中村毎途 市村真樹 他	地域作業療法学実習・社会福祉概論・福祉環境論			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	地域作業療法に関連する制度、対象領域、実践方法を理解する				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域作業療法を実践するうえでの制度、仕組みがわかる 2. レクリエーションを企画・運営できる 3. 身体障害および老年期障害、精神障害、発達障害の各領域の地域支援の実践がわかる 4. 障害を持って生活する人の心理の変化についての理論がわかる 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この科目は、作業療法の対象領域として拡大しつつある地域作業療法についての理解を深めます。疾患各論の理解よりも、広く対象者をとらえる視点を養います。また、特別講義では、一般的な病院・施設とは異なる様々な領域で対象者の支援にあたる外部講師の講義が行われます。作業療法の可能性の幅広さを感じ取ってください。					
教科書・参考書					
教科書:標準作業療法学 地域作業療法学 第2版(医学書院)、作業療法学全書改訂第3版 老年期(協同医書出版)、配布資料					
受講時留意点、その他					
<p>外部講師による特別講義が多くなります。礼儀を持って受講してください。他の授業とは異なる領域の講義が聞けるチャンスですので、質問も積極的にしてください。</p> <p>非常勤講師のご都合により、日程が変更となる場合があります。掲示等に従ってください。</p> <p>スケジュールは前期分のもので、後期開始時に、後期分を追加したシラバスを再度配布します。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80%	前期・後期定期試験を実施。外部講師授業とレクリエーション実践は試験範囲に含めない。通年平均で60点以上を取ることが単位取得の条件となる。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション	20%	レクリエーションの実施及びその計画書・報告書作成。			
その他		<p>レポート評定の条件は、1)期日までに提出すること・2)本校レポート執筆規定を順守した書式であること・3)指定したテーマにそっており、授業に参加していたことが確認できる内容であること である。以上を守っていないレポートは評定対象としない。</p> <p>著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。</p>			
(合計)	100%				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月11日	<u>オリエンテーション、地域リハビリテーション</u>	植田	pp8～17	109
第2回 4月11日	<u>地域作業療法</u>	植田	pp19～44	109
第3回 4月18日	<u>地域作業療法を支える制度</u>	植田	pp58～83	109
第4回 4月25日	<u>連携・社会生活支援</u>	植田	pp84～106	109
第5回 5月2日	<u>レクリエーション実践論</u>	大庭	配布資料	109
第6回 5月9日	<u>レクリエーション実践論</u>	大庭	配布資料	109
第7回 5月23日	<u>レクリエーション企画</u>	植田		109
第8回 5月30日	<u>連携・社会生活支援</u>	植田	pp84～106	109
第9回 6月6日	<u>レクリエーション準備</u>	植田		講堂
第10回 6月14日	<u>レクリエーション実践</u>	植田		講堂・OT実 習室2
第11回 6月14日	<u>レクリエーション実践</u>	植田		講堂・OT実 習室2
第12回 6月20日	<u>発達障害領域の地域支援の実際(特別講義)</u> キーワード: 家族支援、理念、障害者総合支援法	小林不二也 (でら～と 所長)	配布資料	109
第13回 6月27日	<u>発達障害領域の地域支援の実際(特別講義)</u> キーワード: 家族支援、理念、障害者総合支援法	小林不二也 (でら～と 所長)	配布資料	109
第14回 7月4日	<u>障害者心理</u>	市村	配布資料	109
第15回 7月11日	<u>地域作業療法の枠組み</u> キーワード : 生活評価、生活行為向上アセスメント	植田	pp121～135	109
定期試験				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月29日	<u>オリエンテーション、高齢者の特性</u>	植田	P3~19 P35~55	109
第17回 8月29日	<u>老年期作業療法</u>	植田	P59~84	109
第18回 9月1日	<u>介護老人保健施設における作業療法</u>	中村	配布資料	109
第19回 9月5日	<u>認知症</u>	大庭	配布資料	109
第20回 9月12日	<u>認知症を有する人への作業療法①</u>	大庭	配布資料	109
第21回 10月24日	<u>認知症を有する人への作業療法②</u>	中村	配布資料	109
第22回 10月31日	<u>認知症を有する人への作業療法③</u>	中村	配布資料	109
第23回 11月4日	<u>行政における作業療法士の役割</u>	植田	配布資料	109
第24回 12月6日	<u>精神科訪問看護における作業療法士の役割</u>	八木英里也	配布資料	109
第25回 12月6日	<u>精神科訪問看護における作業療法士の役割</u>	八木英里也	配布資料	109
第26回 12月7日	<u>生活行為向上マネジメント</u>	中村	配布資料	109
第27回 12月8日	<u>訪問リハビリテーション</u>	上野真由子	配布資料	109
第28回 12月8日	<u>訪問リハビリテーション</u>	上野真由子	配布資料	109
第29回 12月13日	<u>精神科多機能施設における作業療法士の役割</u>	八木英里也	配布資料	109
第30回 12月13日	<u>精神科多機能施設における作業療法士の役割</u>	八木英里也	配布資料	109
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	聴講生受入
専門	地域作業療法学実習	2	90	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目		
作業療法学科2年	植田伊津子 中村毎途ほか	地域作業療法学		
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示				
一般目標 (GIO)	地域作業療法に関連する実践を体験し、支援の在り方と作業療法士の役割を理解する。			
行動目標 (SBO)	1. 自立支援法関連施設における対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 2. 介護保険関連施設における対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 地域支援の現場において、対象者との関わりを持つことができる。 地域支援の多様な現場で作業療法士の役割を述べるができる。			3. 4. 地
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など				
地域作業療法はすべての年齢・障害が対象となる幅の広い分野です。作業療法士が働く場も多種多様です。本授業では、介護保険関連施設、在宅生活を送る方のための総合支援法関連施設等での実習を行います。作業療法に関連する実践を体験し、地域における作業療法士の役割について学びます。学外実習では、対象者との関わりを持ち、学内で学んだことを実践する機会となります。事前準備をしっかりとし、作業療法学生として適切な行動をしましょう。主体性を持って学ぶことを期待します。不明な点は、担当教員に確認してください。				
教科書・参考書				
教科書: 地域作業療法学実習 講義資料 参考書: 1・2年次で使用した教科書、授業資料				
受講時留意点、その他				
1. 2グループのローテーションによるスケジュールとなります。管理をしっかりと行いましょう。更になる場合があります。デスクネッツ、掲示板を注意深く確認してください。 4. 授業内で伝達する注意事項を遵守してください。				2. 体調 3. スケジュールは変
成績評価方法				
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など		
定期試験				
小テスト				
レポート	80	実習各回ごとにレポートを提出。書式については各回ごとに指示する。		
実技試験				
プレゼンテーション	20			
その他		科目に対する関心、積極的な学習態度において加点する場合がある。授業において、清潔感のない身だしなみ、迷惑行為等は減点対象とする場合がある。特に学外実習において、ご利用者や外部講師への礼儀を欠く態度、社会人として不適切な行動、保健・福祉施設での実習にふさわしくない態度は減点の対象とする。理由なき遅刻・欠席は減点の対象とする場合がある。		
(合計)	100			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教室 教材	
第1回 9月8日	オリエンテーション・外部実習の留意事項説明	植田・中村	109	
第2回 9月8日	異文化交流実習 キーワード:異文化理解、コミュニケーション、想像力、問題解決	市村	OT実習室2・装 具加工室	
第3回	9月15日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	9月15日 生活介護事業所実習 キーワード: 発達障害領域、地域での暮らし、 シヨン	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第4回	9月15日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	9月15日 生活介護事業所実習 キーワード: 発達障害領域、地域での暮らし、 シヨン	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第5回	9月15日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	9月15日 生活介護事業所実習 キーワード: 発達障害領域、地域での暮らし、 シヨン	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第6回	9月15日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	9月16日 実習準備学習 レクリエーション企画	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第7回	9月15日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	9月29日 生活介護事業所実習 キーワード: 発達障害領域、地域での暮らし、 シヨン	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第8回	9月16日 体験のまとめ キーワード:ディリーレポート・記録 ディリーレポート提出	9月29日 生活介護事業所実習 キーワード: 発達障害領域、地域での暮らし、 シヨン	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第9回	9月29日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	9月29日 生活介護事業所実習 キーワード: 発達障害領域、地域での暮らし、 シヨン	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第10回	9月29日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月 3日 実習体験のまとめ レポート提出	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第11回	9月29日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月6日 障害者自立支援施設実習 キーワード: 障害者総合支援法、OTの役割	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第12回	9月29日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月6日 障害者自立支援施設実習 キーワード: 障害者総合支援法、OTの役割	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第13回	9月29日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月6日 障害者自立支援施設実習 キーワード: 障害者総合支援法、OTの役割	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第14回	10月 3日 体験のまとめ キーワード:ディリーレポート・記録 ディリーレポート提出	10月6日 障害者自立支援施設実習 キーワード: 障害者総合支援法、OTの役割	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第15回	10月6日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所リ キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月13日 プレゼンテーション準備	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6

回数 目付	テーマ、内容、キーワード	テーマ、内容、キーワード	教員	教室 教材
第16回	10月6日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所 キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月13日 プレゼンテーション準備	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第17回	10月6日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所 キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月13日 体験実習のまとめ あしたか太陽の丘レポート提出	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第18回	10月6日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所 キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月20日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第19回	10月6日 介護老人保健施設・ ハビリテーション施設実習 通所 キーワード:介 護保険領域、接遇、基本評価技能	10月20日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第20回	10月13日 介護老人保健施設・ リハビリテーション施設実習 通所 キーワード: 介護保険領域、接遇、基本評価技能	10月20日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第21回	10月13日 介護老人保健施設・ リハビリテーション施設実習 通所 キーワード: 介護保険領域、接遇、基本評価技能	10月20日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第22回	10月13日 介護老人保健施設・ リハビリテーション施設実習 通所 キーワード: 介護保険領域、接遇、基本評価技能	10月20日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第23回	10月13日 介護老人保健施設・ リハビリテーション施設実習 通所 キーワード: 介護保険領域、接遇、基本評価技能	10月24日 体験のまとめ キーワード:デイリーレポート・記録 デイリーレポート提出	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第24回	10月13日 介護老人保健施設・ リハビリテーション施設実習 通所 キーワード: 介護保険領域、接遇、基本評価技能	10月27日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第25回	10月20日 生活介護事業所実習 ド:発達障害領域、地域での暮らし、 ン キーワード コミュニケーション	10月27日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第26回	10月20日 生活介護事業所実習 ド:発達障害領域、地域での暮らし、 ン キーワード コミュニケーション	10月27日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第27回	10月20日 生活介護事業所実習 ド:発達障害領域、地域での暮らし、 ン キーワード コミュニケーション	10月27日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第28回	10月24日 実習準備学習 レクリエーション企画	10月27日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設
第29回	10月27日 生活介護事業所実習 ド:発達障害領域、地域での暮らし、 ン キーワード コミュニケーション	10月28日 体験のまとめ キーワード:デイリーレポート・記録 デイリーレポート提出	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設/105,6
第30回	10月27日 生活介護事業所実習 ド:発達障害領域、地域での暮らし、 ン キーワード コミュニケーション	11月10日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 通 キーワード ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能	中村・松尾・施設 指導者・植田ほ か	各施設

回数 目付	テーマ、内容、キーワード	テーマ、内容、キーワード	教員	教室 教材
第31回	10月27日 生活介護事業所実習 ド:発達障害領域、地域での暮らし、 コミュニケーション キーワード	11月10日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設
第32回	10月28日 実習体験のまとめ レポート提出	11月10日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設/105,6
第33回	11月10日 障害者自立支援施設実習 ド:障害者総合支援法、OTの役割 キーワード	11月10日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設
第34回	11月10日 障害者自立支援施設実習 ド:障害者総合支援法、OTの役割 キーワード	11月10日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設
第35回	11月10日 障害者自立支援施設実習 ド:障害者総合支援法、OTの役割 キーワード	11月17日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設
第36回	11月10日 障害者自立支援施設実習 ド:障害者総合支援法、OTの役割 キーワード	11月17日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設
第37回	11月17日 プレゼンテーション準備	11月17日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設/105,6
第38回	11月17日 プレゼンテーション準備	11月17日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設/105,6
第39回	11月17日 体験実習のまとめ あしたか太陽の丘レポート提出	11月17日 介護老人保健施設・ 所リハビリテーション施設実習 ド:介護保険領域、接遇、基本評価技能 通 キーワード	中村・松尾・施設 指導者・大庭ほ か	各施設/105,6
第40回 11月11日	精神障害者地域体験活動実習		大庭	静岡市内施設
第41回 11月11日	精神障害者地域体験活動実習		大庭	静岡市内施設
第42回 11月11日	精神障害者地域体験活動実習		大庭	静岡市内施設
第43回 11月11日	精神障害者地域体験活動実習		大庭	静岡市内施設
第44回 11月25日	実習体験発表		植田・中村	OT実習室2
第45回 11月25日	実習体験発表・まとめ		植田・中村	OT実習室2
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅱ	4	180	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科2年	臨床実習指導者 岡本博行 作業療法学科教員	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法の魅力を体感することができる。 医療・福祉従事者としての好ましい態度を身につける。 指導者の教授及び指導のもと、対象者に対し、基本的な評価技術を実践できる。 指導者の教授及び指導のもと、作業療法治療実践の補助ができる。 				
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 明るさ、節度、協調性をもって他者と接することができる。 口頭及び書面での報告、連絡、相談ができる。 守秘義務を遵守できる。 享受した最重要(必須)の検査・測定、面接・観察、技能を実践できる。 享受した作業療法の治療技術が、指導者の模倣として実践できる。 享受した臨床的思考過程が理解できる。 診療記録を作成、管理できる。 カンファレンス等で報告(書面、口頭)ができる。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<ul style="list-style-type: none"> 作業療法の魅力についての伝達 クリニカル・クラークシップによる臨床実践(見学⇒模倣⇒その場でのフィードバック⇒実践) 間接的業務の実践(記録、報告 他) 思考過程の教示(指導者の思考過程の提示と伝授、ディスカッション、事例報告書の作成など) 学生評価の実施、および評価後のフィードバック・具体的な行動目標設定 臨床実習指導者と学校教員の連携による教育の実践 <p>実習期間中、専任教員による実習施設訪問を予定。その他必要に応じ、適宜、実習指導者と専任教員とで相互に連携し、指導を行う。</p>					
教科書・参考書					
作業療法専門各科目で使用した教科書・参考資料					
受講時留意点、その他					
<p>開講日程は、期間中に23日間とする。日程は、施設形態・実習指導者の勤務形態に応じ、実習指導者の勤務日に合わせることを基本とする。</p> <p>服装は学校指定のユニフォームとする。ただし、実習施設で指定がある場合はそれに従う。</p> <p>その他、実習施設の規則を守り、作業療法学生として適切な行動を心がける。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	100	臨床実習評価表、臨床技能体験チェックリストを基に、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。実習前後に実施するセミナー、面接、実習施設訪問時の状況、実習中に作成したレジュメなどを判定材料に加え、総合的に判断する。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1週 1/23～1/27	オリエンテーション、臨床的・クラークシップによる臨床実践等（模倣による評価・治療の実践から習得した技能項目の学生による実施、思考過程の教授）、間接業務の実施。	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設
第2週 1/30～2/3	臨床的・クラークシップによる臨床実践等、間接業務の実施、実習施設訪問、学生評価、学生自己評価（中間）とフィードバック。	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設
第3週 2/6～2/10	臨床的・クラークシップによる臨床実践等、間接業務の実施、実習施設訪問、学生評価、学生自己評価（中間）とフィードバック。	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設
第4週 2/13～2/17	臨床的・クラークシップによる臨床実践等、具体的な治療計画の教授、間接業務の実施。	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設
第5週 2/20～2/23	学生評価、学生自己評価とフィードバック。	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設